京城日報

本紙定價 壹部參錢 壹ケ月金七拾五錢 前金六ケ月金四圓 前金壹ケ年金八圓
廣告料金 七號活字十五字詰一行 ……
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社
電話番號 ……　振替 ……

七月十二日夕刊 （朝夕併せて八頁）

○チ軍將來奈何 西伯利事態緊張

電の如く浦潮聯合國軍事官憲の共同防禦成立すると共に一方チェック軍は當初至難とせられたるニコリスクを占領し更にハバロフスクを陷れんとする形勢を示しイルクック、サマリヤ、トムスク、オムスクの同族軍と呼應するの氣勢を示せるが要するに一般露人がチェック軍を歡迎せるは同軍が專制なる過激派を倒潰せる爲にして深く將來を慮りての事に非ず而もチ軍は民族的獨立を熱望し居るを以て向後如何なる野心を抱懐し來るやも知れず茲に於てか聯合國側が共同して浦鹽に軍事的施設の第一歩を印せるは深甚の意味無しとせず而もチ軍と雖も赤手空拳にして此事功を收めたるに非ず武器軍需品物資に就ては夙に浦潮聯合國領事團に供給方を懇請し遂に其容るゝ處と爲れりと傳へられ居れば西伯利の新事態は茲に愈々緊張狀態に入れりと推せらる（英消息通說＝東京特電）

○日米救護班派遣

ナイト提督はニコリスク方面に於けるチェック軍負傷者の爲め救護班を派遣したるが我加藤司令官も政府と打合せの上同じく救護班を派遣するに決せり（東京特電）

○臨時政府樹立 ホ將軍宣言＝チ軍と關係無し

東支鐵道管理事ホルワット將軍はポクラニチナヤの東方なるグロデコフに臨時政府樹立の宣言を爲せるが這は既に組織されたるデルベル氏の西伯利政府とは關係無く同將軍一派の舊大官、民間有力者一團と成り聯合側に對し依然優勢なる勢力を維持せん目的に出でたるもの、如くセミヨノフ隊長とは何等か聯絡あるもの、如くなるもチェック軍とは何等の關係を有せずと（哈爾賓電報）

○莫斯科戒嚴令 過激派革命社會黨本部を砲撃

莫斯科に戒嚴令布かれたり過激派は左黨に屬する革命社會主義者が一時占領せる電信電話を取り戻し革命社會黨本部を砲撃したり六日に講和使節を送り來りたるも過激派は無條件降伏を要求したり（ベ、ン電報）

○烏、哥酋長踴躍

烏蘇里哥薩克の酋長アルイムコフは過激派の壓迫に依りポグラニチナヤに蟄伏中なりしが最近浦鹽に於るチェック軍成功するや獨力を以て東方突進を斷行し五日東面のホムウセイなる敵を攻撃し裝甲列車並に火砲を鹵獲し直ちに之を利用して敵を追撃し既にグロデコフを超へホルワトウの東方停車場に達せり（哈爾賓電報）

○社會革命黨鎭壓

八日發無線電信に據れば莫斯科に於ける極左社會革命黨の反革命暴動は鎭壓に歸し數百名捕縛されたり（倫敦電報）

○聯合軍益優勢

西部戰線に於る聯合軍は著々敵を壓迫せんとする狀態にあり（倫敦電報）

○印度憲法改正

英國政府は印度の憲法を改正し議會の權限及び自治を擴張するに決せる旨發表せり（倫敦電報）

○森林借款反對と暴動

吉林省森林借款成立に對する地方各方面の反對聯合會員多數は北京に出張せる吉林交涉署長邸を襲ひ器具を破壞し貴重品を奪略する等暴行を逞しうしたる後更に林務局長邸を襲ひ轉じて督軍署に押し掛け解散せり人心不穩なるも督軍の保護により無事なるを得つゝあり（長春電報）

○岑護法の爲め勇進

岑春煊氏は政務總裁就任の旨を報告し護法諸國の爲め衆議に基き諸公に隨ひ勇進せんと述べたり（北京電報）

○日本對支借款額

現內閣成立後に於ける對支借款額は一億二千二百七十萬圓に達せり（東京電報）

○敵國人收容地

支那政府は敵國人收容地として浙江省舟山島を選定し近く收容すべし（北京特電）

○三爵議員當選者

貴族院三爵議員總選擧は既電の如く十日執行伯爵は午前八時芳川顯正伯、子爵は午前十時清浦奎吾子男爵は午後一時南部甕男管理の下に各互選人參加の上開票せるが其結果左の如く當選す（東京特電）

▲伯爵議員
大原重朝　清棲家教　松木宗隆　寺島誠一郎　廣澤金次郎　柳原義光　副島道正　林博太郎　津輕英麿　松平直之　萬里小路通房　吉井幸藏　松浦厚　柳澤保惠　大木遠吉　川村鐵太郎　奧平昌恭　松平賴壽　小笠原長幹　堀田正恒

▲子爵議員
井伊直安　井上匡四郎　伊東祐弘　伊集院兼知　稻垣太祥　板倉勝憲　五辻治仲　今城定政　池田政時　八條隆正　大河內正敏　大浦兼一　大給近孝　大宮以季　小笠原勁一　加納久宜　片桐貞央　唐橋在正　勘解由小路資承　吉田清風　米津政賢　米倉昌達　立花種忠　竹屋春光　冷泉爲勇　堤雄長　舟橋遂賢　西大路吉光　西尾忠方　丹羽長德　堀河護麿　細川立興　本多忠敬　本多忠鋒　本多實方　外山光庸　豐岡圭資　鍋島直虎　永井尚敏　野村益三　楠簡隆脩　久留島通脩　山口弘達　藪篤麿　松平康民　松平直平　松平直德　松平乘承　松平乘長　前田利定　牧野忠篤　伏原宣足　藤谷爲寬　三島彌太郎

▲男爵議員
五條爲功　[illegible]本武憲　青木信光　青山幸宜　秋月種英　酒井忠亮　清岡長言　京極高德　京極高備　京極高義　水野直　白川資長　新庄直知　東坊城德長　一柳末德　樋口誠康　土方雄志　毛利高範　森清　沖原光孚　小早川四郎　藤堂高成　南岩倉具威　西紳六郎　太秦供康　山內長人　山內豐政　坪井九八郎　清水資治　小畑大太郎　斯波忠三郎　德川厚　本多政以　神田乃武　竹腰正己　阪井重季　青山元　伊丹春雄　楠本正敏　長松篤斐　福原俊丸　眞田幸正　中川興長　宇佐川一正　名和長憲　內田正敏　山根武亮　赤松範一　西村精一　池田長康　高崎弓彦　野田鉛喜　島津健之助　藤村義朗　岩佐新　橫山隆德　船越光之丞　島津長丸　島津久賢　杉溪言長　岩倉道俱　北島齋孝　坂本俊篤　阪谷芳郎　伊東義五郎　千秋季隆　本田親濟　黑田長和　鄕誠之助　辻太郎　北大路實信　二條正麿　藤井包總　安藤直雄　新田忠純　若王子文健　安塲末喜　神山郡昭　佐竹義準　東鄕安　肝付兼行　毛利五郎　平野長祥　山中信義　寺島敏三　矢吹省三　今園國貞　高千穗宣麿　黑川幹太郎　近藤廉平　永山盛興　調所恒德

○本野氏逝去

讀賣新聞社長早稻田大學教授本野英吉郎氏は十一日午前六時逝去せり氏は子爵本野一郎氏の令弟にして元治元年の生れ帝大を卒業して工學士の稱號を有す（東京特電）

●總監招待宴

山縣政務總監は十二日午後零時半朝鮮ホテルに鈴木間島領事を招待し午餐會を催うしたるが本府よりは宇佐美小原兩長官關屋局長久水時永遠藤の各課長上田視學官及び古海總長司田大佐等列席せり

●教員試驗規則追加

小學校教員普通學校教員試驗規則中小學校本科正教員又は尋常小學校本科正教員の免許狀を有するもの及教員免許狀令により授與せられたる教員免許狀を有するものとの二項を加へ十三日府令を以て發布即日施行せらるべし

●保安林編入發布

十三日總督府告示を以て新興東古川面與東里柳大洞所有林野並に同柳榮錫外一名所有林野を保安林に編入す可き旨發布さる可し

●（例會）長官會議流會

十二日は定例長官會議定日なるも都合に依り流會となれり

●總督府醫師試驗

總督府醫師試驗は來る十月一日より京城に於て施行のこと、なれるが志願者は九月十日までに願書、履歷書、警察署長の身分證明書、修業年限四年以上の醫學校を卒業したるか又は五年以上醫術を修業したる旨の證明書に手札形寫眞を添付して警務總監部へ提出すべしと試驗方法は內地に於ける醫術開業試驗と略同樣にして受驗料は一部六圓、二部八圓、三部即ち全部は十圓、受驗科目其の他詳細は醫師試驗規則に在り同規則書入用の向は郵劵二錢封入警務總監部衛生課へ申込むべしと

◆京畿管內の利源と企業（上）

最近京城商業會議所の調査に係る京畿道管內數個郡に於ける利源及び産業狀態並に將來に於ける企業の成否を聞くに左の如し

▲江華郡　過去に於て産業の衰滅せるものなし現在の産業中特色あるものに織物五萬六千反十四萬圓、以百萬枚八萬圓の産出あり之等の産物は府內面より仙源面甲串港運送の舟運による將來企業すべきは右の外蘭席及び莞草の栽培にて既に郡は其獎勵を計畫し居れり

▲長湍郡　過去の産業にして衰滅に歸せるものに朝鮮紙の製造あり大正五年迄は年産額約三千圓に上りしも六年に至りて衰滅せりこれ原料の缺乏に原因す之れを復活せしむるには楮栽培を獎勵し製紙の改良を講ずると共に資金の融通を計るを要す現在の産業中注目に値するを陶器の四萬二百個四千二百五十圓及鐵物の三千五百個六千二百圓とす主要集散地迄には三里あり運賃牛一駄一圓人夫一人五十錢を要す陶器は郡內に需要せられ鐵物は郡內及び開城方面に移出すれども共に資金缺乏の爲め衰滅の傾向あり將來獎勵すべき産業を機業とす原料は京城染織所より購入せるも將來は蠶業の發達に從ひ郡內にて供給し得る見込なり

▲高陽郡　過去産業に衰滅せるものなく現在に於ては玄米の七萬八千石八十九萬餘圓、蠶繭の三百四十七貫十四萬餘圓、[illegible]萬餘石六十九萬四千餘圓、白菜の二百五萬貫六十一萬餘圓、人造肥料の二十七萬餘貫十一萬四千餘圓其他は徐々隆盛の域に進み[illegible]なるものなし金利は百圓に對する月利一圓八錢[illegible]最低二圓八錢三厘普通二圓七十錢八厘內地人間最高四圓最低一圓七十五錢普通二圓二十五錢鮮人對內地人間最高三圓七十五錢最低一圓八十七錢五厘普通二圓五十錢內地人對鮮人間最高四圓二十錢最低二圓五十錢普通三圓とす産業將來の見込は穀作、果樹、蔬菜、蠶業、畜産の如き郡の獎勵に依て年々發展すべき趨勢を示せり從つて將來の企業も之等の範圍を出でざるべし

▲楊平郡　郡內過去産業にして衰滅に歸せるものなし現在の産業中見るべきものは養蠶業にして收繭七百七十四石價格五萬八千五百圓に達す運搬は主として南漢江の舟運により物資の集散は郡內の産物を一所に集め共同販賣方法を取り商人の競爭入札に附す産物は年々增收を得べき見込ありて一般農業と共に益々獎勵を加ふべきものなり

殖銀設立彙報

▼藏相の演說 於殖銀招待會

東京に於ける殖産銀行委員の官民有力者招待會に就ては既報の如くなるが席上勝田藏相の爲せる演說要旨左の如し

今回朝鮮總督府に於ける殖産銀行設立の計畫たる決して今日突如として起りたる問題にあらず其の淵源は遠く明治三十九年の交時、韓國財政顧問たりし目賀田男爵は夙に朝鮮産業の將來に於る發展を洞察して一大殖産銀行設立の胸算を畜へられ先づ其階梯として數個の農工銀行を設立し之をして農工業資金を供給せしむると共に商業資金を給せしめたり而て農工商業資金に對しては東拓と連絡を取らしめ以て其の運轉の圓滑を圖らしめたり然るに近年に至り朝鮮銀行の業務は日に月に發展を遂げ今や其の營業地域は擴張して滿蒙並に露領方面に及び東拓も亦滿洲其他の方面に進出し孰れも單に朝鮮半島の金融機關たるの當初の目的を超越するに至れり此に於て各農工銀行も亦從來の組織と施設とを以て甘んずべからざるに至り此度遂に之を合併し增資して一大殖産銀行を創立せんとするの運びとなりしなり此好箇の時機に際し殖産銀行の設立を告げたる以上は今後內地に於る大口の貸付は鮮銀に於て之を取扱ふも少額のものに對しては總て之を殖産銀行に於て貸付るものとせば啻に兩銀行間に業務上の扞格を生ぜざるのみならず外に對する鮮銀の活動は自由となり同時に殖銀の發達をも期し得べく東洋拓殖會社に於ても亦從來の各々分立せる小銀行を相手とするよりは基礎の確實なる一大殖産銀行と提携し之を扶掖しつゝ進む方途に安心にして且つ營業上にも萬事好都合なるべし又日本勸業銀行の如きも永く內地にのみ跼蹐すべきにあらず進んで新領土に投資し以て産業の開發を促進するは其の本來の職責に副ふものとすべし此の場合に於ても勸業銀行は到底朝鮮內地の事情に就き遺憾なき調査を盡すこと不可能なるべきを以て殖産銀行と連絡を結び之に一任して放資するの外なかるべし朝鮮殖産銀行設立の必要なること前述の如し唯夫れ朝鮮に於ても民間の力未だ乏しきを以て斯る金融機關の創設に就ては是非とも內地資本家の財力を仰がざるべからざるを得ず

▼優先權分割 認めざる事に決定

鮮銀現株主の殖産銀行株式申込の優先權は分割し得るやうの解釋出來しゐたりしが十二日野坂幹事は特に分割の不可を聲明せり即ち鮮銀株百株を所有し居るものありとすれば其の株主は當然二十五株は法定の割當てを受くべく殘餘の七十五株が優先申込權となる譯なるも右七十五株は該株主が一人にて之れを申込まざるべからず之れを分割する時は該株主申込の分のみ有效となり他に分割せしものは優先權無效に歸する事となるなり

▼大阪の披露

鈴木美濃部兩殖産銀行委員は十一日大阪の各新聞記者を招待殖銀設立の內容に就て說明し十二日は銀行家その他財界有力者多數を招待し殖産銀行に對する說明をなしたり

▼應募の豫想

殖産銀行株式應募に對する一般の受けの旺盛には銀行設立當事者も意外の感をなしつゝあるが申込取扱ひ現場の觀測にては應募二十倍に達すべしとの何好況々の聲あるため自然申し込者は所要以上の應募をなさんとする傾向あり又所要株以上に申し込まざれば募入困難なる等の事情あるため增加すべき形勢を呈し居れり現に內地朝鮮を通じ應募は彌が上にも增加し朝鮮の一小都邑にして早くも三百株以上應募をなさんとしつゝある如き例もあり應募の結果非常の超過を見るは[illegible]を感ずるに至らん

▼所員增加

目下殖産銀行設立準備事務所にては中村野坂兩幹事以下支部書記四五名にて常務を執りつゝあるが十四五日より更に多數の理財課員に事務取扱ひを囑する事となり居れりと

●電燈値上案 目下當局にて調査中

京城電氣會社より申請せし電燈料値上は過日遞信局に警務部より書類を附し來りしを以て目下同局に於て調査を進め一方會社に各種資料の提出を命じつゝあり尙ほ其の値上げに對する可否の指令は多分下旬に入らざれば之れを發し能はざるべしと

●橫斷航近狀

朝鮮郵船會社の日本海橫斷航路は依然北鮮仕向け裏日本並に東部日本行きの貨物は豆粕米穀等にて滿船の姿なるも復航は例の如く餘り振はざる狀態にあり尙ほ往航の船は最近北鮮地方より京城方面並に滿洲方面よりの要貨多しと

●輸鏡間落札 竣工は大正九年

咸鏡線北部輸城鏡城間の鐵道工事は請負入札の結果龍山松本組にて之れを受負ふ事となり近く起工の筈なるが工費六十餘萬圓竣工期限は大正九年までとなり居れり尙ほ羅南までの開業期は土地平坦なるも河流あり旁々大正八年秋期の豫定なりと尙ほ京城管理局にては工事監督のため職員梁川小市氏外數名を羅南に上野一雄氏外數名に鏡城駐在を命じたり

●正米市場（計畫） 京城穀物組合

京城穀物同業者に依りて唱道されたる京城正米取引市場開設の議は益々進捗し兩日中に規約條文完成し四五日中には委員會開催の運びに至るべく其上愈々組合の創立總會を開く由なるが其の組合規約は全文七十八條より成り名稱は正米取引市場と稱せず京城穀物商組合と稱し事務所を南大門通に設け組合員相互の聯絡を圓滿ならしめ商況の統一を圖り取引をして敏活確實ならしむるを目的とするものなり期間は十箇年とし賣買取引は仲介人をして斡旋せしめ組合員相互は賣買の當事者たるを得ざらしめ賣買受渡は其翌日完了せしむべく組合員は信認金として百圓を供託し新加入者は信認金の外加入金として五十圓を要する等其の主なるものなり而して右加盟者は內地側約二十五六名にして朝鮮人側は目下尙ほ勸誘中なるも約三十名ある由因に委員氏名左の如し
天日常次郎▲野村治一（以上三井物産）▲城中多吉▲小山庄三▲執行猪太郎▲堀井三郎▲今村伊三郎▲中島竹次郎▲根原末太郎▲朱宅淳▲金沫然▲崔昌根▲李宗獻▲曹景學▲吳宅善の諸氏

●鑛業登錄（自七月四日至七月六日）

▲鑛業權設定
鐵　京畿道江華郡府內面良道面　八十六萬三千九百二十五坪　井上藤兵衛
砂金　慶尙北道[illegible]郡[illegible]面　十三萬六千百七十坪　金永塊　朴崇大
金銀銅鉛　[illegible]　四十二萬三千七百八十九坪　[illegible]
金　[illegible]　六十九萬六千五百七十坪　[illegible]
鐵　京畿道江華郡水品面　七十六萬四千[illegible]百八十五坪　[illegible]
金　黃海道[illegible]郡[illegible]面　十八萬九千九百坪　[illegible]
金銀　平安南道成川郡大[illegible]面　六十七萬八千九百[illegible]坪
金銀　平安北道[illegible]郡[illegible]面　八十八萬二千四十五坪　[illegible]
金　咸鏡北道[illegible]郡[illegible]面　四十萬二千百三十五坪　佐原辰雄
黑鉛　[illegible]　四十一萬七千五十七坪
▲鑛業權消滅
金　黃海道[illegible]郡[illegible]面　六十三萬三千百十四坪　宋榮升
[illegible]

●京管局の半休

京城管理局にては各官廳と同樣十一日より午前八時出勤正午退出の事に定められたり

●有松長官下仁

有松法制局長官は十二日午前十時十分仁川驛着直ちに稅關を視察し終つて仁川築港視察の上正午仁川府廳にて午餐を認め午後歸京せり（仁川）

▲北鮮行

有松法制局長官は十三日秋原參事官の東道にて元山を經て永興に赴き同夜元山に引返し一泊の上十四日再び歸京す可し

●軍司令官動靜

軍司令官松川敏胤大將は十二日も龍山に滯在多分十三日同地出發平壤巡視の後十五日頃龍山著歸任の豫定なりと

●鈴木長官歸期

朝鮮殖産銀行設立要務を帶びて東京大阪地方へ出張中の鈴木度支部長官は廿三日頃歸任の筈なり

●城覆審法院長

京城覆審法院長城數馬氏は咸鏡南北兩道に於ける裁判所事務巡閱の爲め十二日朝元山に向け出發せり

●三浦博士來期

京都帝國大學教授總督府囑託文學博士三浦周行氏は十三日京都出發十五日釜山著史料調査の爲め慶尙南道鎭海及び濟州島を約十日間の豫定にて視察すべしとの通知其の筋にありたり

●阿部氏出發

本社前社長阿部充家氏は愈々十二日午前八時四十分發列車にて出發歸東したり驛には內鮮人官民數百名の見送りあり頗る盛んなりき

●菅田所長下調査

既に米國及び歐領加奈太墨西哥各地へ出張を命ぜられたる專賣課廣梁灣出張所長菅田勇氏は右出張用務下調査のため十日附往復二十五日間の豫定を以て京城及び東京へ出張を命ぜられたり

大佐は天候不良の爲め歸任延期し十二日朝歸木の筈なり▲郡守赴任　黃海道延州郡守に新任せる下坂重行氏は十三日光州發赴任の由

●大阪高商生鮮滿視察

大阪高等商業學校三年級二十五名は河本教授に引率せられ十一日午後三時五十六分列車にて梅田驛出發し鮮滿視察の途に上ることとなれり本年は從前の例を破り北京に至るべく青島を以て最終地と爲す由當京城には十三日午後九時着京不知火旅館に投宿十六日午前九時四十分京城に向け出發す可し（大阪）

◉木浦

▲海藻組合取扱高　六月中の取扱高を聞くに同月上半期間は殆んど出盛りの情況を呈せしも下半月は天候不順の爲め出廻りなかりしが天候恢復せば一時に出廻りある見込なるが之れが取扱高は鯡布十萬三百六十斤代金三萬七千四百十圓、鹿尾菜二千二百十五斤代金千六百十一圓、天草一萬四千四百九十三斤代金二千六百二十七圓、小磯草一千五百二十一斤代金百九圓、櫻草三千三百六十斤代金三百七十三圓、銀杏草一萬千八百九十九斤代金千二百六十九圓合計十三萬三千七百九十四斤代金四萬三千四百一圓なりし▲電報取扱　六月中に於ける木浦郵便局の電報發著數を聞くに發信四、五六九通著信五、〇二三通にして昨年同月に比し發信四五九通著信四〇通の增加を示せり▲送迎會　木浦經濟會にては十一日午後七時より木浦支廳佐藤判事、平井稅關支署長、手島務安郡書記の歡送迎山崎光州地方法院判事の歡迎會を開催せしが經濟會員外の申込加入者多く盛會を極めたり▲警務部長歸任　濟州島巡視中の全南警務部長藤田[illegible]

謹告

本日小生儀出發に際し多數の御見送を忝うし感謝の至りに堪へず何れ著東の上御挨拶可申上候得共不取敢紙上を以て感謝の意を表し申候　敬白
七月十二日
阿部充家

北海道より（二十）

天民生

北海道の戶口は大正五年末の統計に依ると戶數が三十六萬、人口が百九十八萬で、六年末には既に二百萬人を超過した。人口から言ふと新潟縣と愛知縣の中位である。一方里の人口は千百五十八人であり、東北の宮城、福島、以北の各縣の平均は千四百人であるから、此の割合で行けば猶ほ四百萬人の餘裕がある譯で、全國中人口の最も稀薄な岩手縣に比するも尙之から二百萬人を收容することが出來るので、移民の將來は極めて有望なりと言はねばならぬ。朝鮮の人口は約千七百萬と見て一方里の人口は[illegible]、北海道に比べると非常に密度が濃厚である。

訂正　十一日夕刊一面所載總督訓示とあるは政務總監の誤りにて從て政務總監の代讀に非ず茲に訂正す

人事

▲齋藤東拓理事長　十二日朝南大門驛發列車にて東上
▲三浦大尉（憲兵隊司令部副官）　十二日夜內地より歸任
▲小池右吉氏（新潟製氷會社取締役）　十二日朝入京朝鮮ホテルへ
▲永井松次郎氏（土木局仁川出張所長）　十一日出府命ぜらる
▲山崎顯三氏（新任湖州郡守）　十三日出發赴任
▲森岡京城電氣重役　十一日夜入京朝鮮ホテルへ
▲小野高等商業學校生徒一行四十八名　十一日夜入京旅館へ

茶前酒後

◎西伯利には新政府樹立流行と京浦鹽出鈴に極東西部兩政府あり
◎騎崎士更に盛菲用古府に臨時政府の組織を企て翻れも自治派
◎三政府亦其主義に於ては反過激なるも相一致せず不共通の點多し
◎之に過激派を加ふれば西伯利は鳥渡四分の形勢押しの強き者が勝
◎獨軍は密に高加索地方を壓迫して漸次北進の計畫に基き進軍すと
◎又曰く高加索地方より波斯土耳其斯坦方面に兵を進むと報ずる在
◎之西伯利出兵口實を進んだ計畫か然ども何にしても獨國東漸は依
◎獨逸傀儡の跳梁は西伯利耳に非ず既に外蒙古に侵入して活動中也
◎彼等は武力にて成勝し宗教を以て人心を收攬し御馳走政略を取る
◎其効果空しからず人心の大に之に傾くに乘じて排日を盛に煽動す
◎獨國東漸は啻西伯利と思ふ勿れ人目を引かぬ處から出現し來る
◎該國の諺言に曰『揮は眼に從むも恥は痛くなし』と此言葉を味へ
◎今は不知恥之皆時露人の通有性也醒覺して臍を噬むも及ばざるべし
◎長崎飛行將軍增上寺にて飛行講話を試み僧俗を感動さす好惡附也
◎參詣の老婆途步中に縋がり將軍が掌を叩くこ南無阿彌陀佛を唱ふ
◎勿疾兎角高に進は低きよりせざるべからず之より飛行說法始らむ

廣告料金改正

來ル七月十六日ヨリ五號活字十五字詰ニテ
定價金壹圓也ニ改正仕候
改正後ハ總テ行數ハ五號活字ヲ標準トシテ計算致ス可ク候也
大正七年七月十一日
朝鮮新聞社
京城日報社

大正七年七月一日改正現行

◆電報係の奮闘振＝延著した電報 [illegible] 名の電報係が奮 [illegible] しつゝあるは東京京城線（十二日京城局にて撮影）

◎電報が歩いて來る

＝東京から三晝夜懸つて來たのもある
＝下關以來の電信全く杜絶
＝總員必死となつて活動せる京城局!!!
＝この狀態は何時迄續くか

[illegible] 報の延著することは既報の如くなるが昨今それが益々甚だしくなつたやうなり非常に順調な時で東京からならば四十時間以上——先づ二晝夜を要するを普通とし

▽ウナ電でも 廿時間位たねば京城局に到著せぬと云ふ最も甚だしき時はそれ以上をこことも珍らしからず現に十二日午前の新聞電報中八日午後五時五十分東京國民局にて受付たるもの漸く十二日午前九時五十五分に到りて京城局に到著し此間

◇實に三晝夜と十六 ◇時間を要したるものすらあり、東京京城間の電報が三晝夜と三十六時間——これでは郵便に依ると何等の差なく電報の有難味は些ともない譯なるがこれ等は先づ例外としても兎に角近來電報が大延著を來しつゝあるは事實なり、然も

▽その原因は 當局の怠慢でもなければ從業者の罪でもない屢々報道した通り佐世保大連間及び京城下關海底電線の故障に依るものなるが十二日朝京城郵便局に達したる公電に依れば十一日夜來内地に大暴風雨あり德山以東の電信線五六箇所不通となり

◇東京大阪下の關間 ◇聯絡杜絶したりと云ふからそれが復舊する迄同方面からの電報は益々輻輳停滯すべし

▼火事場の樣な電報室 病人は出ぬ 勤務は激しいがまだ

京城郵便局では毎日平均一萬二千通の電報を受け付け居れるが之に對する送信能力は一晝夜僅に七千通に過ぎず殘餘五千通は翌日に廻しそれが積り積つて非常なる停滯を來し居れり京城局の電報係九十餘名中直接受授に從事して居るのは約七十名なるが斯くの如き狀態なるを以て係員は普通十時間の勤務時間を延長し時間中は一秒の暇もない程必死となつて機械を動かし居れるも捌き切れず電報室は宛ら火事場の如き混雜と多忙を極め物凄きばかりの光景を呈し居れり右につき [illegible] 課長は曰く『當局では九十名の電報係を五組に分ち交代で勤務させてゐるが何しろ主要線の故障以來電報が非常に輻輳して居る爲め總員必死の活動も何等の效果を奏しない普通設良の線ならば一分間に三百字迄送信し得られるが只今使用して居る線では先づ百五十字が精一杯と云ふところ……乃で係員は何れも勤務時間を延ばし打つて打つて打ち續けると云ふ有樣で全く眼が廻る程忙しい電報係りは何しろ勤務が過激なので不恣健康を害する者が非常に多いけれど昨今は緊張してゐる故か何れも元氣で居るのは幸せである』

▼復舊期 來る廿日頃か

遞信省の修理船は愈々十三日長崎を拔錨佐世保大連間海底線の修理に取掛る事となりしとは既報の如くなるが風浪等の支障なき限り同線は三四日中に復舊すべく其後に於て釜山下關間の修理に從事すと云へば電報の全然舊態に復するは二十日頃なるべく德山以東の電信線は十二日中に復舊する見込なりと

◇東宮還啓

東北御巡遊中なりし東宮殿下には十日還啓あり十一日午後一時御參内 天皇皇后兩陛下に御對面御旅行中の御物語あり同五時御退出遊ばされたり(東京特電)

◎内地各地風水害

山陰山陽線浸水のため不通

▼山陽線不通 線路浸水の爲

山陽線上郡驛附近にて線路に浸水し上下共汽車の運轉不通となれり(廣島電報)

▼岡山縣下慘害 郵便は船便に

岡山縣下各川出水し町村の浸水したるもの多く交通杜絶し岡山崩れのため八家倒潰火災起り壓死溺死したる者あり列車不通の爲め大阪よりは姫路迄の切符を賣り居れり山陽線は既報の三箇所依然不通姫路に西行の旅客多數滯在混雜し郵便は神戸より船にて遞送する筈なり(大阪特電)

▼山陰線不通

山陰線豪雨のため鳥取小山間も不通となれり(大阪特電)

▼小學生十二名押流さる 橋梁破壞し

十一日午後播州赤穗郡鞍居村小學校生歸宅の途折柄の增水にて橋梁破壞したるため橋諸共押流され十一名行方不明となる(大阪特電)

▼九鐵線被害多し 崩壞汽車脫線

十日來の豪雨にて九鐵線の被害多く元三角線住吉網田間にて岩石線路上に崩壞せる箇所へ列車乘上機關車一輛貨車五輛脫線せり(門司電報)

▼四國にも被害

今回の豪雨にて四國にては交通杜絶の箇所あり(大阪特電)

◎增貫控訴す

增田貫一は懲役二月の東京地方裁判所の判決に不服なりとし十一日控訴の手續を爲せり(東京特電)

◎東海丸無事

筑前若松より大連へ向け航行中六月二十六日以後行衛不明を傳へられし東京汽船會社の汽船東海丸(五百三十一噸)は無事入港したる旨十一日夜船主より仁川海事出張所に入電あり入港地は不明なるも多分大連ならんと

◎彌生丸不明 九龍浦を出帆した儘

下の關市内丸山町居住大阪府堺市古町西一丁目林房吉所有石油發動機船彌生丸にて船長西村松雄外六名乘込み慶北迎日郡九龍浦にて生鯖を滿載して妙商丸と共に同港を出帆下の關に向け歸港の途に就きたるが妙商丸は八日博多入港鮮鯖の陸揚をなし九日午後六時下の關港に歸著せるも彌生丸は今に歸港せざるより途中にて遭難せしにはあらざるかと妙之町河村鮮魚部より下の關水上署に保護を願出たりと

◎煙草が騰る

朝日が八錢敷島十二三錢か
◇改正稅率の二割五分丈騰るだらう
◇八月一日から稅令が施行される

改正煙草稅令は八月一日より施行せらるゝ事は既報の如くであるが同時に煙草の小賣値も改正稅率に伴なうて二割五分方の騰貴を見るに至る可くこれに就て東亞販賣部員曰く『從來競爭の結果値上をしたい下心はあつても

◆◆斷行 する事が出來なかつた程であるから此の機會に一般値上げを斷行するやうな事はあるまい不日同業者の協定もあるであらうが多分改正稅率丈けの

◆◆値上 げに止るだらうと思ふ此際一般消費者は買込んで置くと幾分利する處はあらうが販賣店は買占めなどをして置いても施行當日の現在手持品に加稅されるやうな事がないとも限らぬ

◆◆値上 額は專賣局との關係上只今では豫想も出來兼るが多分朝日は八錢敷島は十二三錢位になるであらう』と

◎連絡船缺航

十二日夜釜山に入港すべき關釜連絡船は風浪高きため缺航となり從つて十三日朝南大門著の急行列車には内地便接續せず

◎海上風浪高し 對馬丸引返す 貨客連絡なし

十一日朝出港の對馬丸は海上風波高き爲め途中より引返し港内に假泊せるも風波次第に高く連絡航行不可能の爲め同夜入港す可き德壽丸は下關を出港せず爲に十一日夜行貨客連絡無し(釜山特電)

◎本妻妾を慘殺し河に棄つ

全北鎭安郡上田面月坪里金兆鉉は本年三月十六日妾趙姓女(こゝ)を迎へ更に六月二十八日南原郡 [illegible] 生れの趙姓女(こゝ)を妾として家庭に入れ三名同棲中妻與姓女は夫兆鉉の

◇嫉妬 喧嘩絕えざりしが其のアタリが面白くないとて果妾趙姓女を憎むこと甚しく之れを殺害せんと企て七月二日午後二時頃草刈りに行くと同里の河岸に誘ひ出し激流中に突き込まんとせしも趙姓女が反抗したる爲め果さず携へたる草取用具にて頭部を

◇亂打 して人事不省に陷らしめ其の上增水中の河流に突き落したるものにて屍體は約二里の下流に於て四日發見され與姓女は鎭安署に引致嚴重取調べ中

◎鮮人忠僕の殉死 ◇珍らしき事實◇

京城新井初太郎氏は牧場の傍ら栗林の經營すべく去る明治三十九年中同家の從僕の巢窟にて内地人の影だに見ざる江華島に着眼し爾來十年計畫にて一萬本宛の栗苗を植つけ十年計畫にて事業に著手し同島内にて

◆人煙稀 なる [illegible] に作業場を設け金澤米吉夫妻をして之が事業に從事せしめ爾來十二年間の今日に至る迄繼續して相當の成績を收め居れるが金澤は突然先月二十五日病歿せり然るに金澤は事業手の鮮

◆韓慶錫 といふを雇ひ入れて事業の手傳ひに使役せしが同人は稀に見る忠僕にて其の後金澤夫妻と起居苦樂を共にして獻身的の勤むるにぞ金澤も感心して妻を持たせ相當の田地を與へて

◆一家を 構へさせ自活の道を立てさせたるも慶錫は強て金澤の許に出入し居りしが金澤の死を痛く哀哭して食事も進まず悲嘆して生きて居つても樂みはなく主人の

◆後を追 ふて行きたいと其夜より全く世を悲觀し最後は口吻を洩し隙を見て短刀自殺を企てしが居合せたる人々が辛くも制止し懇々宥め諭す所ありし爲め稍落著きたる模樣なるより親族の者を附して

◆警戒し 置きたるに僅の隙を覘ひ自分の寢室に縊死して殉死を遂げ殉死し居るを發見せり

西鮮お伽旅日記(三)

淚光生

◆瑞興 蛙の哀音胸に沁みて、旅愁の夜更け易まばら、眠れざればこそ思ひは轉々と各地の愛する者の上に及ぶ、頓み甲斐もなく宿の女中に起されたる時はすでに汽車の發車を告ぐる汽笛の鳴る頃である、せん方なく車を求むれど、これに應ずる車夫なく、鮮人に案内させんも人なし

◆細き降りし雨に水の增して橋は落ち、道はひどくなり居りて昨日午後溺死者のありたるをいたく恐れてなり、萬難を排して人を求め出水の三流の川を鮮人の背に乘りて渡りやうやく瑞興に二里の道を歩み入りたるは正に十時、普通學校長阿部恭平氏は巡邏さんの同縣人しかも恩師たるなり互に今日の奇偶を語れ共喜ぎ、丹下小學校長と共に多大の盡力をせられ午後二時普通學校に於て開演

◆郡守鄭琦爵氏を初め加藤憲兵分隊長、高橋氏等と外多數の男女大人もありて盛會なりき、兒童のみならず斯うした少數戶數の部落に於ける人達の趣味的智識に缺けたるを思へば單調になれ行く罪詞を淡き同情を以てもながめぬ

◆ポプラ並木に夕陽は照れど時雨の音の一時騷がしく過ぎ行くなる夜は同縣人なる阿部、郡廳の劉韓伊原、郵便局松井氏等發起となり食に共に鄕語を交へんとの御厚志にて旅館に集まらる、これに參加の人々は郡守、隊長、小學校長、山口、高瀨、松本の諸氏、時雨の過ぎて川に面せる風も涼しき一夜の心へだてなき談話を嬉しくもまた感謝しぬ、三絃の音も四絃の音も眠れたる天地、暗き夜の調べを、或は高く或は低く巡邏さんに胸に小波ゆれゆれて夜は深うなる、星はかゞやく。

▲這度漸鮮の旅行脚でやつて來た越後の長岡の人加藤滑平氏は中年頃から海上胤平氏の門に入り歌道の蘊奧を極めた人で長歌は最も得意とする處であるが▲性格は極めて酒脫、瓢遙二十年來の孤獨流浪の生活を送つて既に日本の北から南の果ても二回程行脚した▲然も行脚は總て下駄穿きで汽車汽船は大嫌ひ這度も釜山から京城に來る途中僅か釜山三浪津間の汽車でヘトヘトになり三浪津で一泊して來たと言ふ程の變り者▲財産と言つても各地の歌人の芳名錄と駄草鞋のみで身に一錢の貯へもないので隨分苦しい行脚もしたがどうせ韃靼落魄の身の末は路傍に骨を曝すのだと頗る悟つた處がある▲朝鮮へ來てからの作には『白妙の袈裟そ裾びき行かよふからの少女の姿よろしも』『水無月のてる日をいたみ靑山も啼かずらすべき蟬の聲かな』『から國の釜山港に舟はて、牧の島山今日見つるかも』などがある

◎講道館支部證書授與式

講道館支部に於ては過般來新舊入門者の技術に對し階級を附することゝし審査中なりしが愈々決定したるを以て其人員二百名に對し來る十三日午後七時證書授與式を擧行する筈

◎本門佛立講(竹添町) 本門法華宗布教所にては毎月五日畑入命十三日祖師御命日、十七日開上人御命日、二十五日日降上人御命日の各夜八時より勸懲する由

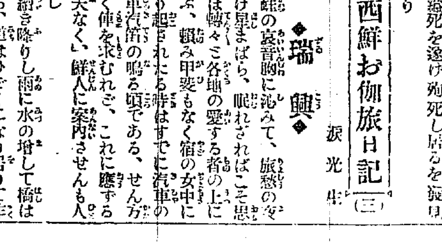
運動界

▲法政野球團退京 法政大學野球團一行十四名は京釜線開通せるを以て十一日朝南大門發東上せり

讀者文藝 (一等には五十錢の郵券を呈す)

▲締める
○紙こ鋏こナイフ(一等) 龍山漢江通り 一國枝備店内 山田 [illegible]

次點者 京城雲雀 同 永道 南茶目坊 大邱 しげる子、釜山 マコト、同 無事庵



次回課題 [illegible]

商況

東京期米特電
十二日前場 一番 不明

兵庫期米特電
十一日後場 先一節 二十四圓二十八錢 二節 二十九錢

大阪株式特電
十二日前場 當限寄付 二十四圓二十六錢

銘柄	拂込額	十一日後場
宇治川水	[illegible]	[illegible]
京阪電鐵	[illegible]	[illegible]
東洋紡績	[illegible]	[illegible]
合同紡績	[illegible]	[illegible]
鐘淵紡績	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]
東洋製糖	[illegible]	[illegible]
大阪商船	[illegible]	[illegible]
日本郵船	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]
堂島米穀	[illegible]	[illegible]
東京株式	[illegible]	[illegible]
大阪株式	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電
十一日前場
限月	値
七月限	三四四、七五
八月限	—
九月限	—
十月限	—
十一月限	—
十二月限	三四八、〇〇

大阪期米特電
十二日より先限立會開始

下關期米特電
十一日後場 (森田)
	當限	中限	先限
寄付	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
止め	—	[illegible]	[illegible]

雜報

◎堂島先限立會 十二日より先限立會を開始
解合斷行惱みて紛擾を重ねつゝありし堂島定期市場は遂に解合不能に了り結局十二日より先限立會を開始

運行さは [illegible]

◎解合行惱み 停止

仁川期米は一昨十日委員會に於て前報の如く解合値段を協定し續いて賣方に對し夫々交渉中の處買方側一部に不承諾の向ありて今朝に至るも尚解決を見ず [illegible]

仁川市場 事情異 / 眞重に協議 / 主意に該當 / 法定に黑白 [illegible]

◎銅價昂騰す 約三圓方昂騰 [illegible]

◎洋釘先高は目立つ 割安の賣物 [illegible]

◎益々騰貴の一方 [illegible]

◎丸鐵人氣旺盛 十圓方の躍進 [illegible]

跳上一躍卅圓方 [illegible]

◎銑鐵は先高 漸く頭打 [illegible]

豐漁を傳ふ [illegible]

◎鰹節頭打ち [illegible]

◎正米一服模樣 玄米白米共に持合 [illegible]

◎新炭ヂリ強し [illegible]

小賣精撰物一圓見當約十錢方昂騰 [illegible]

今一度下押の時期 [illegible]

五錢方昂騰 薪炭に二十 [illegible]

下關相場 [illegible]

◎關東麥市況 大麥安 [illegible]

上げ餘地尚二圓 [illegible]

◎鉚類騰貴す 賃高と產地高の爲 本邦輸入も運賃 頓に好況海外輸出 [illegible]

各地商況 [illegible]

釜山市場 十一日 [illegible]

市場雜觀 客筋中解合に應ず 凝議 當中限中止 圓五十錢高報 安値より一 解合は贊成 解合値段に [illegible]

仲買店 [illegible]

仁川期米 十二日前場 休會

仁川正米 [illegible]

生魚市場 [illegible]

南大門廻穀 [illegible]

北濱だより 就き多少の異議 [illegible]

▲鐘紡株 [illegible]

食料品卸相場 [illegible]

白米小賣値
一等白米 二十八錢五厘
二等白米 二十八錢

白米標準値
二十七圓六十錢

田中金兵衛商店 [illegible]
倉重 [illegible]

◆連絡船上陸客 十日 [illegible]
▼暴風警報 [illegible]
□募集規定 [illegible]

●新任の内地人郡守は何んな訓示を受たか
慶南道長官より

佐々木慶南道長官は新任内地人郡守三氏に對し左の如く訓示せり（晋州）
今回郡守に内地人を採用せられ配置せらるゝ事となりたり此等の郡は内地人の在住する者の多く各般の行政事務頗る繁雜なるを以て特に認められたる次第なり而して内地人を郡守に採用せらるゝは事創始に屬し

一般の囑目する處

にして其の成績の如何は行政上影響する所甚大なれば新に郡守に任命せられたる者の責任誠に輕しとせず故に各位は能く趣旨を了解して其の地位を自覺し内に在りては精勵身を以て下僚を率ひ外に對しては懇切公平を旨として至誠を以て事に當り特に

朝鮮人と郡廳との

關係に注意し苟も内地人郡守となりし爲め其の間疎隔を生ぜしむるが如き事なく今後益々郡治の圓滑を圖り以て本府の期待せらるゝ所に副はん事を要す内地人郡守の任命は内地人側に在りては之れを歡迎すべきは當然なりと雖も朝鮮人側に在りては言語の關係上意志の疏通に不便なるが爲之れを喜ばざるもの

絶無と云可からず

此點に就て本道に於いても特に朝鮮語に堪能なる郡書記を配置し其の不便を減殺せんと欲す尤も郡守自身に在りても成るべく朝鮮語に熟達する事を要す（中略）著任後面長、郡參事及び有力者を召集し朝鮮人に對しては日常特に郡守に親しむべきことを懇諭し口頭又は書面其他何等の方法に依るを妨げず

事情を郡守に通ず

ることを躊躇せざる事を勸告し以て意志の疎通を圖る事（中略）内鮮人の融合は郡治上最も重要事項にして而して其の實を舉げんが爲に特殊の事項を除く外多く事項に其の實情を研究して

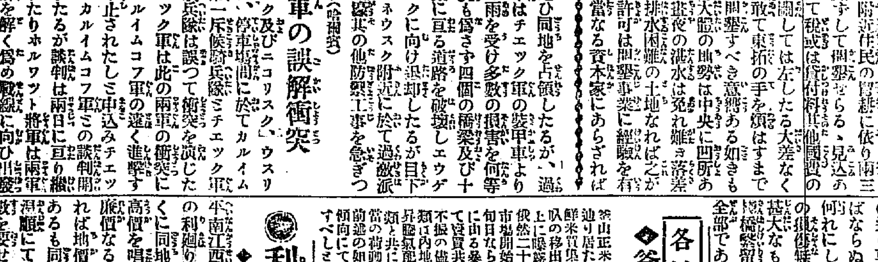
共同經營を爲さし

むるより良きはなし若し假りに其の間に爭ひを生ずる事あらむか公の秩序又は公共の目的に反せざる限り互讓に依り之を解決すること注意を要す（下略）

◎冑耕に委す
◆東拓の未墾地と利用◆草晩大規模に開墾すべし

平南龍岡郡瑞和面に於る東拓の貸付出願未墾地問題に就て仄聞する處によれば貸付出願地は面積約三百町歩に亘る一大集團地と十一箇所の地より成る約百町歩にして孰れも屯土に屬する草生地なるも地味比較的肥沃なるを以て附近住民の自由に冑耕し現今約百町歩の既墾地あり而して之が冑耕を默認せば今後兩三年を出でずして悉く開墾せらるべき状勢を示し居れるも要するに當局に於て顧慮する問題は燃料飼料の採收に歸するを以て之を有利に解釋するも現在に於る草生地の自然生産に委する雜草批よりも開拓後の作付栽培に依る稗稷類を以てせば其量及び實質に於て遙に優良なるものあるべし斯の如くにして未墾地は此儘之を放任するも附近住民の冑耕に依り兩三年を經ずして開墾せらるゝ見込あるを以て税或は貸付料其他國費の收入に關しては左したる大差なく住民又敢て東拓の手を煩はすまでもなく開墾すべき意嚮ある如きも貸付地大體の地勢は中央に凹所ありて二三年夜の洪水は免れ難き落差少なき排水困難の土地なれば之が利用の許可は開墾事業に經驗を有する相當なる資本家にあらざれば永久に安全なる耕地として毎年確實なる生産は期し難かるべしと（平壤）

◎釜山新棧橋



釜山第一棧橋と倉庫（左）尼ヶ崎汽船大有丸六六〇噸（右）鐵道院御嶽丸（七〇〇噸）

尼ヶ崎汽船會社の大有丸（五百噸）が去る六日午前九時新設釜山第二棧橋北側の突端に著いた當日釜山税關大谷監視課長、大池回漕部、尼ヶ崎取扱主任其他關係者が著船状況や荷役の状況を見たが税關でも以來荷主及び運送業者の利便を圖る筈で免税米の如き千個以上纏つたものに對しては堆積地點で檢査を行ひ簡略に特殊扱ひを爲し又沿岸廻著品は共同倉庫及び興業倉庫の庫入れ品の如きは棧橋に堆積の上檢査を爲すと諸方面に亘つて利便を與へ樣と云ふ事になつてゐるが是れは可及的繋船時間の短縮を主とするものである、第一棧橋は輸出貨物と滯貨幾分殘留の故で從來の通り草梁剣道を今暫く持續せねばならぬので幾分の不便はあるが何れにしても取扱ひの簡略と貨物の集散上に於て荷主の利益は甚大なるものであらう、寫眞は第二棧橋繋留中の大有丸と附近倉庫の全部である（釜山）

仁等の惡風俗殆皆無の状態なり而して畑一日耕の利廻りは年一割三分五厘と相當せり即ち時價二三百圓に對し地税公課一圓四十九錢を納入するものなり尤も此地方の小作料は折半法にして二年に跨り三作とし粟、大豆、小麥、蕎麥、小豆等の五種類を作するを通例とせり此二年分の小作料五十四圓十五錢一年二十七圓七錢五厘にして地價二百圓に對し前記の如く年一割三分五厘の利殖なれば金利としては極めて高率なるものなり尚大規模の經營には土地管理費として小作料百分の五を引去り又地税公課とは地主持ちなれば此は折半の上種類を賣却して是に充當し尚餘りありと（平壤）

◎關税調査會

元山商業會議所にては朝鮮に於る關税存廢問題に關しては最も愼重に研究を重ぬ可き必要ありとなし本會を關税調査會と命名し委員を各方面に亘る民間有志に依囑する事とし本問題に對し專ら研究に着手する事となれるが當日は委員二十七名を依囑して一と先づ閉會次會は十二三日頃開くべし（元山）

◎井邑と新設道路

井邑有識者として左の投書ありたり『京城木浦間一等道路は已に井邑々内入口まで完成したるが之より先は邑内を貫通の市場方面と停車場方面との二豫定線ありて何れの線を採用するかは其筋に於ても未決の事なるが此の豫定線の採り方に依りては井邑將來の一大問題として有志者の常に憂慮しつゝありし事情は即ち井邑川の排水如何にあり一昨年の洪水を見よ將に邑内を一押に流さんとせし大慘事に遭遇し其筋よりは持地土木局長の水害情況視察あり遂に昨年は補助を得て堤防の修築を爲し初めて井邑民の愁眉を開きたる次第なりき然るに若し一等道路が市場方面を採用せられんか道路の爲めに或は排水の完全を缺き一昨年以上の大慘事を惹起せんものとも計られず近く一昨年の水害當時も鐵道線路の爲め逆瀉し里一村の慘憺たる苦き經驗もありとて有識者は憂慮すると共に當局に向つて十二分の精査を切望し居れり

戰塵

イルクックと西伯利亞政府

チタよりの來電によるに過激派軍は戰闘の後更にイルクック市を奪取したる爲めチエック軍及び白色軍は市街より一時退却したるが二日間に亘りたる激戰の後チエック軍は過激派を市街より退却せしめアンガラ河後方に追ひイルクックを再び占領せり目下同地には西伯利政府の權力行はれつゝありて秩序恢復したるが戰闘の際は火災を起し市街は慘憺たる光景を極めたり（哈爾賓）

チエック軍進む

ポグラニーチナヤよりの情報によるにチエック軍は激戰の後過激派をニコリスクよりハバロフスク方面に……したり（哈爾賓）

……過激派軍に追ひ同地を占領したるが、過激派軍はチエック軍の裝甲車より砲彈の雨を受け多數の損害を何等の抵抗も爲さず四個の橋梁及び十八露里に亘る道路を破壞しエウゲネウスクに向け退却したるが目下エウゲネウスク附近に於て過激派軍は塹壕其の他防禦工事を急ぎつゝあり（哈爾賓）

兩軍の誤解衝突

ゴレンク及びニコリスク、ウスリースク、停車場間に於てカルイムコフ第一斥候騎兵隊とチエック軍斥候騎兵隊は誤つて衝突を演じたりチエック軍は此の兩軍の衝突に關しカルイムコフ軍の遠く進撃するを中止されたしと申込みチエック軍とカルイムコフ軍との談判開始されたるが談判は兩日に亘り繼續されたりホルワツト將軍は兩軍の誤解を解く爲め戰線に向ひ出發したり（哈爾賓）

各地の金融
◆釜山の金融◆
朝鮮銀行支店調査

釜山正米界は月初めに於ける低落商状を辿り居たる際偶阪神筋の有力なる商人鮮米買集めを爲し當地の在荷中約三萬叺の移出商談成立し居れりとの確報世上に喧傳せらるゝや賣方の元落と共に俄然二十六圓近くの狂騰相場を現はし市場開始以來の最高値を唱へたりしも旬日ならずして阪神期米の頽勢に由る暴落の影響を蒙り市況混沌として賣買共に何れも見送りの態にて商況不振の……雜貨類は内地氣配良好なる爲め當地も漸次昇騰氣配を示し、夏物向は他の雜貨類と共に地方筋よりの注文にて商況……當の荷動きを見るに至れども商況前途の如くにて金融の大勢は減少の傾向にて今茲に暫くは同一趨勢を持續すべしと思はる

◎利廻好き畑
◆一年に一割三分五厘◆

平南江西郡甑山附近に於ける田地の利廻りに就て某當局者の談を聞くに同地方に於ける水田は相當の高價を唱へ居れるも畑地は比較的廉價なるもの多く尤も南鮮に比すれば地價尚ほ高價に過ぐる如き感あるも同地方一帶の小作人は性質温順にて且つ實直なれば收納に手數を要せず南鮮の如く小作料に對し不正の行爲を認めず加ふるに逃……

間島輕鐵後聞

天圖輕鐵は東拓會社と天圖輕鐵會社との間に二百五十萬圓の借款成立を告げ代表者飯田延太郎氏は斯界の重鎭孟將軍郭省長を首め日支の重立たる官民百餘名列席したるが故に同輕鐵の實現近きにあらんも間島にては未だ何等の準備を見ず一説によれば天寶山鑛山監督者名覺昭氏は七月中旬までに間島に入り直ちに着手すべしとあるも其第一線たる龍井村會寧間の開通は到底本年内に期する能はず切めて半……離にても敷設を終へ來る輸出期にて運轉を開始せしむれば間島農産の輸出に大なる便益を與ふるのみならず經營者自身に於ても之れを得策とするに異論なかるべきも果して本年内に夫れまで進捗せしめ得べきやは疑問なりといふ（間島）

◎自動車開通す

清州鳥致院間及び清州美江間の定期自動車は道路破壞のため一時休業せるが復舊せしため野下署長及び富田技手同伴試乘の結果愈々八日より從前の通り運轉せり尚ほ清州忠州間も達川橋迄は既に運轉せり（清州）

◎井上博士動靜

四日午後九時著元の井上博士は去る五日午前午後三回に亘り學校其他會議所に於て講演を爲し六日朝陸路咸興に向へるが十三日再び元山に引返し愛國婦人會員に對し一場の講演を爲す豫定なり（元山）

◎水害地巡視

忠清北道警務部長前田良太氏は水害實況及び事務檢閲の爲七日より向ふ十一日間鎭川、陰城方面を巡視す（清州）

◎觀測團延期　去る八日……にて來著して……各地の觀察を爲すべき福井市越前毎日新聞敦賀支局主催の視察團は豫定の人員を得る能はず終に無期延期となれる旨元山朝鮮出張所へ入電ありたり（元山）

◎新開地氣質
三日女房
◆亭主を馬鹿にした書置きを遺して京城へ◆

長崎縣南松浦郡富江村大字山下貞方タミエ（二七）は昨年春羅南二浦料理店開月に酌婦として住込み居たるが同女は丸ポチヤの愛嬌好き女とて同女の許に通ひ來る嫖客多き中に東羅二浦里の豆腐屋某と云ふ男は昨年六月下旬二百餘圓の身代金を拂つて貰ひ受け日出度く豆腐屋の女房となりしが元來此のタミエは顔に似合ぬ豫踏にて元々豆腐屋の女房にならう抔といふ考へは持たず亭主の惚いのを踏臺にして足拔きをする心算なりしかば同棲して僅三日目に亭主の不在に乘じ目星い物を行掛けの駄賃に攫つたまゝ書置き樣の手紙を遺して京城へドロンを極めたるが其書置といふは『わたくし事あなたよりもモット好きな男があるのでその人の所へ參ります』この馬鹿にした文句なれば亭主は烈火の如く憤り早速其筋へ訴へ出で羅二浦署にて搜査中の處同女は京城青坡町某方に潜伏してる事が判りしにぞ本町署の手に取押へられタミエは羅二浦へ逆戻しされ目下留置取調中（羅二浦）

◎時計屋の故買
羅二浦

在住愛知縣津島郡成岩町一四八〇時計商柳原深太郎（三七）は七月九日三菱社宅を騷し廻りたる竊盜犯人女公七より情を知り乍ら金時計を買し同樣の他に買取り他に轉賣せしこと露發し羅二浦署の大川刑事の手に捕はる（羅二浦）

◎清州の碁會　清州有志四十名より成る圍碁倶樂部員は十四日三餘倶樂部に於て圍碁大會を開催し各優勝者には賞品を贈る由（清州）

◎誰が買ふか
◆元英國老婦人の別莊　廿萬圓は高價では二割……

蜿蜒長蛇の如く元山灣の碧潮に伸へる葛麻半島の突角に常に緑翠滴つて幽邃なる遊覧客を凝らせる洋館は之ぞ英人ピルブロー老婦人が所有に係るものなるが暑さ寒さの更り目には燕の如く來り去る唯一の閑居地として既に二十有餘年を過ごせるものを老婦人は寄る年……

◎辯護士となれる本木氏　元山南……部長たりし本木房吉氏は辯護士を開業し……共同事務所を開設し……佐々木道長官外官民有志數十名を京城に招待し盛大なる披露宴を開催せり（晋州）

◎居昌の繭市場　慶南居昌郡廳にて第二回繭競爭入札をなせるが清水安太郎氏外四名に左の相場にて落札したり（晋州）
（一等）九十一圓七十錢（二等）八十二圓……（三等）……十八圓（等外）五十二圓七十錢

東京大相撲
木戸割引券
（仁川興行中）
後援　京城日報社
京城日報御愛讀者にして此割引券御持參の御方は卅錢の木戸料を廿錢に割引致候

塚原卜傳
第百三十四席　悟道軒圓玉口演

仁科與四郎の言葉を聞いて熊吉喜び『一旦惡人の計略に陷ちて穢はれた大切の書面、貴方のお蔭で取戻し、其上また箕輪までお届け下さるといふのは何よりの事、私も大安心でございますから何分お願ひ申します』與『確かに預かつた、それでは熊吉殿、人目にたゝぬ中拙者は直に上州へ赴くとにするから』熊『左樣でございますか、それでは之れでお別れ申します道中お氣をつけ遊ばして……』與『貴公も氣を付けさつしやい、重ねて面會いたす』と仁科與四郎書面を受取り懷中して熊吉に別れ上州路をさして急いで行く、熊吉ホッと息を吐いて其儘城中へ立戻りましたが一角の死骸は與四郎が川へ投込んで了つたから誰一人として此

の樣子を知る者もない、熊吉城内へ戻つて知らん顔をして濟まして居る、石塚十左衛門は柏木一角こ計つて怪しき者と目星をつけた小松四郎兵衛を討取らんとしたが何うした事か熊吉の四郎兵衛は無事に戻つて來て一角は戻つて來ないから不審に思つたが何をいふにも證據がないから十左衛門も呆れ果て、一角の注意を背入れぬ彈正、今に見ろ酷い目に逢ふが其時に及んで後悔するなと口にはいはぬが腹で冷笑つて匆々に暇乞ひをいたし小田原へ立歸つて了つた、城中では柏木一角が姿を隱したのを不思議に思ふばかり、誰一人として熊吉の所爲と思ふ者がないのは好運であります、此方は仁科與四郎夜に日を繼いで上州箕輪へ來り、上泉の道場へ參りまして塚原に面會を求める、塚原何者ならんと立出で見ると汚いボロボロの扮裝をした乞食であるから不審に思つたがよく見ると見忘れもせぬ仁科與四郎でありますから大に驚き、また喜び奥へ伴ひ話を聞く、與四郎も一別以來の事を涙ながらに物語りさて鍛冶の城下にて熊吉に廻り合つたことを語りましたから小太郎も其苦心を謝し、また熊吉の骨折りを感じ厚く與四郎の勞を犒ひました、さて愈々彈正奥州へ出立の日も分つたから小太郎小躍りして打喜び、彈正の行列に隨つて奥州路へ乘込み、途中隙あらば討取ること出來なければ最後の目的地は奥州名代の松島、日本三景の隨一として名高い名所、之れへ乘込んで彈正父子を討取らんといふ考へそこで此事を師秀綱初め同門の人々に物語りをすると秀綱先生も大いに喜び給ひ　伊『それは何より幸先宜し、奥州松島は名代の場所、同じ仇討をするにしても場所がよくなければ不可ぬ、花々しき仇討を遂ぐるには松島こそ適當であらう併し敵もさる者、殊に伊達家の招待とあれば彈正の家來は固より、伊達家より警固の人數もあらう、さすれば二百三百にも餘る大勢、中々小太郎一人の力にて彈正を討取ることは難い、同門の好誼一同も力を合せて小太郎に本懷を遂げさせて貰ひたい』といふ其言葉の了らぬ中に、柳生又左衛門、丸目藏人、疋田文五郎、神後伊豆守、山三五郎、戸塚……、四條……、宮原一傳、由井八郎を初めとして好合したる門人三十餘人、一同に口を開いて『其儀は私共より願ふ處、小太郎殿の身に過失あつては上泉一門の名折れ、他家に聞えて面目ござらぬ、固より同門といへば同胞も同樣、小太郎殿の父の仇なれば我々共に取つても父の仇、佐竹の惡人彈正左衛門を討取つて一つには土佐守殿の無念を晴らし、一つには佐竹宗室の奸を除き萬代の安全を致すが武士の役義、師のお言葉なくとも我々より押して同伴なさんと存じ居つたる處、幸師の一言何しに違背仕らうや一同揃つて力を添へ本懷を遂げさせ奉らん』と異口同音に述べました。

中元御贈答用
チヾミ
メリヤス夏シャツ
クレープ
鈴木支店
京城本町一　電一八七二番

こよみ　七月十四日　九紫　舊六月七日　壬午……

演藝案内

京城壽町　壽座　電話五七八　新派さゝ浪會一行　七月十三日第二回目……

京城本町　壽館　電話一〇五〇　現代自然の滑稽劇　新舊喜劇……

黃金館　電話二六三七、二六九六　七月十二日より特別大興行……

有樂館　早川演藝部直營活動寫眞常設館……

浪花館　電話二六〇番　明治町一丁目　京阪落語……七月十日より開演……

大正館　櫻井町　電話八七三　日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店　七月十二日より特別興行……

舟遊びは
漢江遊船倶樂部
龍山電話一〇番へ
△御一報次第參上▽

鞄
御旅行に　堅牢にして　無比の耐久　便利
内田靴鞄問屋
東京市芝區櫻田伏見町　電話芝一五五一

紳士の頭髮を飾る
高等煉香油
二葉ポマード
大阪久寶寺町　化粧品問屋　角倉商店

田村質店
黃金町長橋町入口　電話二九一六番　商品擔保便利取扱

高尚にして贈る人も受くる人も心地よく便利で實な物價
中元御進物用　影響なき
商品券
大阪屋號書店

店員入用　年齢十七八歳以上二十四五歳の者二三名入用但し保證人を要す
大石商店　電話一八三番

參百枚限り
純綿セル袴
金貳圓七拾錢

制限給水廣告
大正七年七月十三日　京城水道
七月十三日以後當分ノ内給水時間
午前五時給水開始　午前十時給水停止　午後三時給水開始　午後九時給水停止
但土地ノ高低ニヨリ多少ノ遲速アルト共ニ京城水道補給水逆水ノ見込ナルモ送水能力少量ナルヲ以テ大部分ハ吐水セサルヘシ

汽車

京釜線（南行）
同（北行）
湖南線（南行）
同（北行）
關釜連絡
京義線（北行）
同（南行）
兆支線
京仁線（仁川行）
京元線（北行）
同（南行）

これから暑くなるにつれて

頭は重苦しく、胃腸は弱り、仕事には倦き易い……

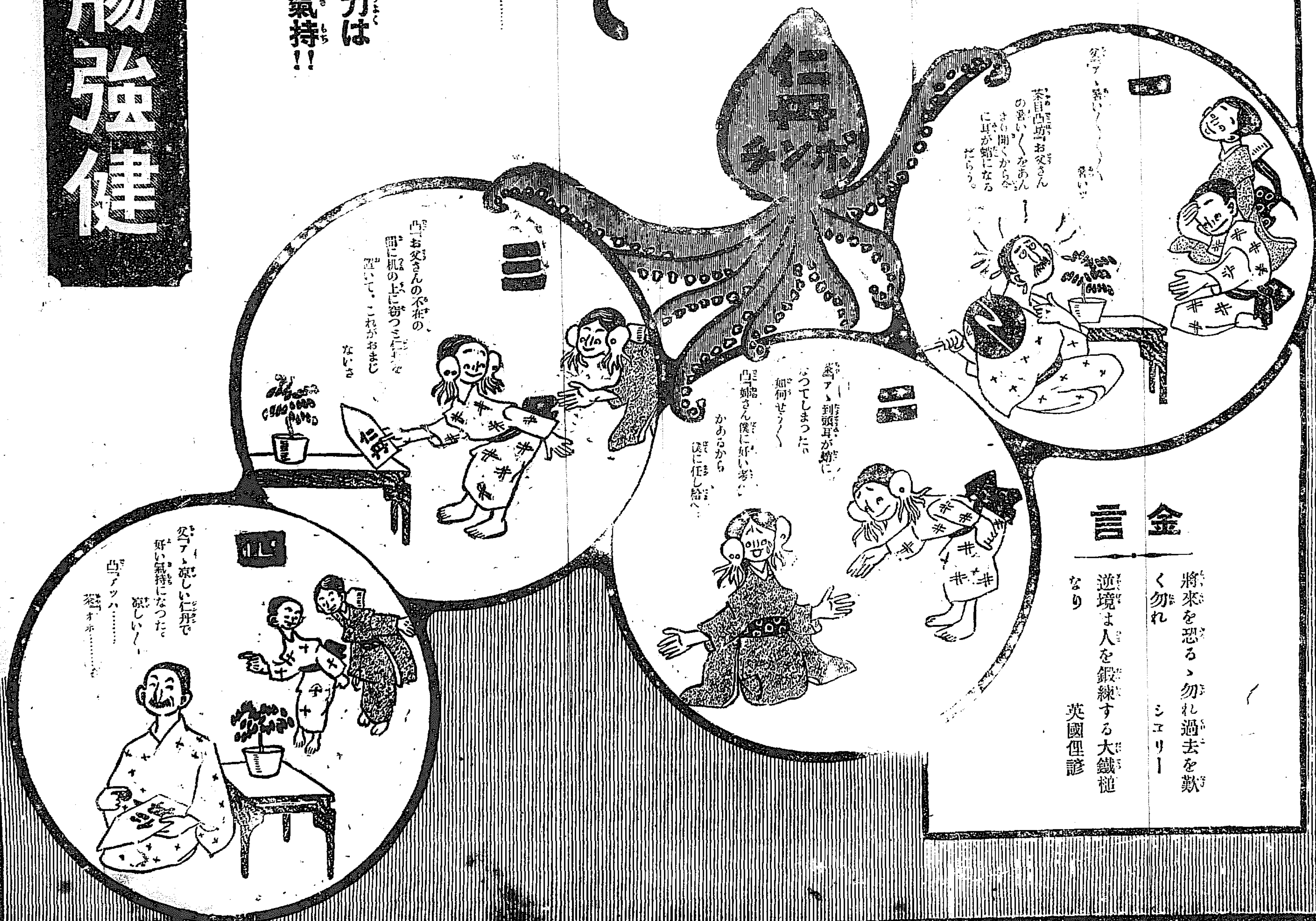
こんな時に仁丹召上れば

心機一轉して潑溂たる生氣と活力は全身に漲り何とも云へぬイヽ氣持!!

仁丹のむ人 胃腸強健

●仁丹の買方

▲名所カード金言容器付（二貼半入）二十錢
▲四季容器付（七貼入）五十錢
▲徳用包（九貼入）五十錢
▲美術桐箱入（七貼入）一圓



金言

將來を恐るゝ勿れ過去を歎く勿れ　シェリー

逆境は人を鍛練する大鐵槌なり　英國俚諺

樂觀を不許

中心點なき、西伯利擾亂の眞相は、壁を隔てゝ物を觀んとするの感無き能はざる也。然れども不確實ながらも、日々到來する情報を綜合すれば、其の大勢を洞察する亦左程難きに非ざる也。チエツク一度蹶起してより、勢力却々侮るべからず、各地の反過激派亦、風を望んで躍起し、今や西部西伯利は、反過激派の風靡するかの感あり。然れども尙ほ多數の過激派及び獨墺俘虜軍は獨逸の援濟政策が公然現出すると共に、續々として南下し、反過激派軍に對抗せんとす、されば其結果は、未だ豫期すべきに非ざる也。

抑も反過激派が、西部西伯利を以て、其の勢力下に收めんとするは、一方より見れば、同地方に於ける、秩序の恢復に汲々たるは[illegible]るも、此の中心たるべき反過激派、或は浦鹽にチエツク軍あり、又トムスクに別個の西部西伯利政府を樹明し、更に亦ホルワツト一派が、臨時政府を創設するありて、其の不統一が、何の時に、何人に因つて統一せらるべきかは豫測たらざるを得ず。從つて之等を三個の政府が、日、英、米等各國の國際關係に連繫して、如何なる結果を生ずるか、將又チエツク族が、向後如何なる態度に出るやも、疑問たらざるべからず。更に此の連絡なき、三個政府が、果して一個となり、一個の政府となり得るや、而して各地の反過激派が果して其步調の一致を、見出し得るかは、之れ亦尙に目下の大問題たらざるを得ざる也。

更に蒙古に侵入せる、過激派の獨墺俘虜四五千名の一隊は、ターチヤンブに根據を置き、獨旗を翻して、時には武力威嚇を試み、或は獨逸士官の宣教師に變裝して宗教を利用して人心を收攬せんとするあり。元來同地方人民は、支那政府の虐政久しきに、疲弊困憊せるが故に、人心多くは之に傾き、彼等の術中に陷りつゝあるを機とし、彼等は盛姿を張つて、排日を煽動し、漸次排日の氣風を釀成しつゝあり。東蒙の形勢は、依然として此の如し。然り而して反過激派に於て、過激派及び俘虜軍に對抗すべき中堅は、今の處チエツク軍を措きざるべからず。然れども獨逸より、其の一流なる辣腕の後援ある、優勢なる過激派及び俘虜軍の殺到するあらば、[illegible]して見非に、之を打ち拂ひ[illegible]ありや否や、之れ亦以て[illegible]ざるを得ざる也。斯く觀じ來らば、西伯利は未だ以て、却て樂觀を許すべきに非ず。

暗殺されたる駐露獨大使
暗殺の原因

暗殺の報を傳へられたる駐露獨逸大使ミルバツハ伯は巴威ミユンヘン市の人にして外交官として辣腕を有すると共に哲學者として名聲高く外交官生活の第一步は巴里に於ける獨逸大使館書記官たり後羅馬、西班牙等を歷任し再び巴里に參事官として赴任し大戰勃發當初には外務省のバルカン半島諸國操縱係として訓報勤務の重任に當れり。露國と直接交渉を生ずるに至りしは、革命勃發後のことにして露國政府が獨に獨逸と單獨講和を締結し、捕虜交換條約を締結せる後、間もなく三十餘名の委員に長として四月初旬露國に到着したり伯は頗る露國に對してウクライナの操縱、芬蘭との交渉、バルチツク艦隊及び黑海艦隊の押收に至るまで獨逸の對露政策一切の實行に當りしは勿論、彼のムルマン鐵道の割讓の如きも伯の手に依りて遂行せられたり此外又西伯利西及び極東の捕虜操縱も殆んど伯一人の手によりて實行せられ現在も盛に實行せられつゝあり即ちミルバツハ伯は現在露國に對する隱れたる施設及び公然の折衝全部を總括すと云ふも可なり次に暗殺の原因に就て推測するに(一)レニン一派の反感(二)反過激派一味の反感(三)無政府主義者の嫉忌の三原因を想像することを得ん然れども第一過激派(レニン政府派)の手に依りて暗殺せられたりとは信ぜられず是れ伯の死は過激派の興廢に關するを以てなり第二反過激派一味の陰謀に非ずやとの疑問もなきにあらざれども反過激派として現下の情況の下に伯を暗殺するは露國今後の立場を益々困難ならしむる惧れあるを以て是れ亦事實なりとは信ぜられず從つて第三無政府主義者の陰謀ならずやと思料せらるゝ點[illegible]も多しと云はざるを得ず偖て暗殺の影響を考ふるに獨逸は有爲の外交家一名を喪ひ其損害多大なるも他の一面より見るときは伯の死は實に獨逸に有力なる口實を與へたるものにして獨逸が今日まで窃に又達成勝に企圖せる所も今後は公然要求するに至るは必定にして獨逸の露國壓迫は伯の死によりて一段と步を進むること疑ひなし而して獨逸が此際利權要求すべしと思はるゝは戰爭繼續に是非とも必要なる糧食及び材料の供給にして獨逸は現にウクライナ方面より糧食の補供を待つこともあるもウクライナ政府の態度も曖昧なるが爲め必要を滿足する程度には達せず從つて其不足を西伯利の穀物及び金屬原料に仰がんとするは疑ふの餘地なく恐らく西伯利鐵道の管理は全然獨逸の手に移さるべく現在獨軍捕虜に非ず正式軍隊は西伯利の咽喉ペンザに邂逅しつゝあり命令一下直ちに活動を起すの準備成れり要するに伯の死は露國が獨逸に其慾望を強要せしむる好資料を與へたるものにして我國に取りての直接影響は西伯利に對する獨逸勢力の一段強大となるべきことなりと信ぜらる(某外事通談)

露國市場の將來と諸問題(十一)
對露貿易に關する諸問題(五)

●露國に於ける信用及貿易

●金融の手段方法　米國製造業者等は概ね動もすれば對露貿易代金決濟の途は唯紐育に於ける證券に對する現金取引の外之を有效に行ふこと能はざるが如く思惟すること雖も事實は決して然らず露國銀行制度の完備せる事來露兩國間に於ける種々の便宜手の具はれる事等に依り對露製造業者或は輸出業者は容易に顧客の責任信用程度に關する報道を受け得るは明かなる次第なるが進んで一度露國市場に入るに及ては何人も露國商店が皆創立舊く各自の資金融通方法に就ても十分なる經驗を有し居れるを知るべし、信用ある同國商店は時に創立以來數十年を經たるものあり、其の多くは長期の取引に慣るゝを常とせるが故に是等に對し其信用を疑ふが如き態度に出て如何なる方法を問はず掛賣を拒絕するが如き事あらんか甚だしき憤激を招くに至るべし現今の如き戰時狀態の下に在りては米國商店が紐育市場に於ける現金決濟を要求するは一應無理ならぬ次第なれども戰後に及んでは斯の如き顧客と接觸を保つを必要とす、商品の註文に對しては發送と同時に荷受人に對する荷爲替を振出して支拂を受くるを便とすれども場合に依りては顧客に對し六十日乃至九十日の支拂猶豫を認むるの必要あり。前記の如く露國の主なる銀行は國內到る處其支店を設置せるが故に何處と雖も之等銀行の便を借り得ざるの地なし、米露商業會議所は會員の請求あるに於ては露國銀行業務に關し更に詳細なる報道を備まざるべく、之に加へ米國銀行も亦對露貿易業者に對し必要なる援助を與へんとせる事も併せて讀者の注意を乞はざる可からざる所なりとす

●露國に於ける廣告利用の問題

●露國の人口と分布狀態　一八五八年に於ける露國の人口は七千四百五十五萬六千三百人と註せられしが其後一八九七年の第一回國勢調査に依れば一億二千八百十九萬五千六百人となり一九一三年一月現在に於ては一億七千四百九十萬九千六百人に增加し前調査に比し十五年間に三割五分八厘の增加割合を示せり而して此の夥しき人口は廣大なる領域に亘りて分布せらるゝものなるが元來露西亞は世界第一の領域を占有し其面積二千二百萬平方哩地球全面積の七分の一を包有し米國の四倍歐洲總面積の三倍、關西に比すれば實に其四十四倍に當れり

◇短冊の流行
輕便で興味が多い

へ偉人　名家の遺墨を尙藏するは先人の高風を敬慕する美風で、それには斷簡零墨でも差し支ない譯だが、人情として成るべく纏まつたものを望む、併しながら當節のやうに書畫幅の價格が天井知らずであつては、生容易いことでは希望を滿たすことが能ない、そこで近頃滅法に流行し出したのは短冊の蒐集である、短冊は小紙片であつて完全なものだから之に想ひ到るのも尤もの次第である、第一輕便で、百枚二百枚を一帖に貼り込むことが出來、展觀出し入れに少しの不便もない、幅物は立ち優つた筆蹟があつても、保存上の手數が容易でなく、[illegible]は內容に興味があつても、[illegible]が煩はしいと、短冊趣味者が斯くいふのも、強ち手前味噌とのみは斷ずべからず。

◇短冊　の尙ばるゝは何も今に始まつたことでなく、往時から手鑑帖の尤品が諸家に秘藏され、醍醐寺の花見の集、前田侯爵家の短冊帖、平瀨家にあつた眺望集など皆有名な帖であるけれど當今の短冊蒐集家は主に德川中期以降のものに目を着け、以て自から骨董的愛好者を區別して居る、回顧すれば既に一昔になるが、東京國民新聞社の主催で開いた維新志士遺墨展覽會が動機となつて、短冊趣味の復活を見るに至つたのは面白い因緣である、勤王家の名が強く世間の腦裏に響いたのは此時で、誰も彼も勤王家遺墨を獲むと爭ひ、僞に其眞蹟が非常に貴重な値に騰つた、それでも小品には尙餘裕があつたので、主として短冊を探求するものと書幅をのみ集むるものとの二筋に分れて、却々盛んに纏り廻つたと見え、今では其れ等の小紙片まで盡きて終つた、『維新志士遺墨帖』や『維新志士』『集』等の出版物も、此間の手鑑として尊重されて居る。

◇流行　の根元は右の通りだけれど、勤王家物が種切れになつたこと、蒐集趣味は止むに止まれず、乃木將軍が尊崇した人だとの理由で川路聖謨が大いに持て囃された、又大岡越前守や根岸肥前守は名奉行であつたからそれも宜しい、村垣淡路守は初めて米國へ使した人だから面白い、石川[illegible]守は蝦夷地に功があるから尙藏すべしと言つた風で、遂に歌人にまで範圍を擴め、歌人俳人にまで及ぶやうになつたが、今はまた非人に見當をつけて、狩谷望之、市野迷庵、北村言などゝ町人學者のものが須らく尊重されて居る、現代の大家は特に記述紹介したとがある、隱れた篤學者と來ては一屑値打ちがあるやうだ、正岡子規が亘濶以上と賞嘆した井出曙覽、佐々木信綱氏が大提灯を掲げた福岡の大隈元廷、萬葉を賦めた功蹟を紹介された賀茂季鷹、此名の守からざることゞ比例の價格が有る、斯手が擴がつて來ると、研究も段々難しくなる所から、東京では短冊同好會なる研究團體も組織されて、本年は展覽會さへ開いた程大仕掛となつた。

◇前じ　詰めると結局は無いものねだりに落ちるのは何の道樂でも同じく、七卿の中でも殆んど稀なる四條隆謌卿のがあれば百金二百金は何でもない、三舟中では鐵舟のが第一に尊ばれ、大きな幅なら二三圓でも買へるが小さな短冊なら五圓も六圓もするといふ有樣、子規の和歌が欲しいとか漱石の俳句が無いかといふも皆同じ道理である、そこで現時斯道の大家を數へると、鑑識の點でも多數の點でも、甲州の雨宮賓水氏と越後の坂本桂船氏とが兩大關であるさうな、九鬼の蠻隊長渡邊金造氏も人後に落ちない、伏見の宮司岡部譲氏、伊勢の秋山彌市郎氏など何れも一方の將である(東京)

並行線 (二十四)
瀧　閑村

封を破る手は怪しくもブルブル顫つた。短い手紙がバラリと落ちた。

拜復、御申越の金員固く御斷り申上候、娘縁事も御世話に相成候ひしが今回良緣あり他に嫁し候事に定まり候間御了承願度、今社も豫定通り事業を開始候に付是も御心配無用に候、緩々內地にて御靜養然可と存候敬具

山本　育

神谷宵太郎殿

宵太郎は其手紙を見詰めて石像の如く動かなかつた。

妹は勝手で働いてゐた。宵太郎は妹の眼を恐るゝやうに庭口から窃と戶外へ出た。足は行くとも無しに熊野神社の杜に向つた。

『何だ、金を斷るなら只斷るだけで宜いぢや無いか、娘には良緣がある、緩々靜養しろ――とは何だ人を馬鹿にするな』

と宵太郎は齒を嚙んだ。

『靜子――俺は靜子だけはそんな女とは思はなかつたが、やはり薄良地の金より外に目標の無い女だつた。事を知つた、成程別れてから一本も手紙が來ない筈だつた、さうとは知らずに色々な希望を懸けてゐた俺は馬鹿だつた。畜女!そんな奴に久しい間感情を弄ばれたのが殘念だ。』

と宵太郎は面前に其人を見るが如くに罵つた。

『高山にも賣られたのだ、高山が俺を措いて獨りで技術を擔任するなんて事の出來る義理ぢや無いのだ、嗚呼やつ付けてやりたい……』

と兩手をワナワナ顫はして棒の如くに突立つた。

『いくら怒つて見た所で朝鮮に通る譯では無い。』

と心付くと、自分が顧みられた。

『あゝ是で萬事休すだ、俺の半生は粉碎されてしまつたのだ。』

頭が少しづゝ醒めて來ると、自分の醜さが段々に出て來る。

『一切を破壞したのは誰だ？皆自分ぢや無いか、自分で築いて、自分で破壞した者を、誰を恨まうと云ふのだ。』

腕を叉んで其處へ力無く腰を下した。

怪しかつた空は雲が厚くなつてポツポツ雨が落ちて來た。綠葉を透して宵太郎の額を打つたが、宵太郎は心付かぬさまにヂツと考へ込んでゐた。

杜の外を通る人が二三人怪しんで覗いて行つたがそれも知らなかつた。

暫くしてホツと吐息すると共に青い顏を擡げた。

『さうだ、俺は此儘死ね無い、此儘引込んぢやゐられない、何を犧牲にしてもモウ一度世に出なけりやならない。』

と叫んだ。當座の後に來るものは再生でなけりやならない。

雨は益々強く降つて來た。雲はズンズン西へ飛る。

商業登記

商號ノ新設、商號 開城勸業商會、營業ノ種類 肥料農具竝高麗人蔘賣買、營業所 開城郡松都面北本町百拾五番地、[illegible]

右大正七年七月九日登記

京城地方法院開城支廳

晒小幅木棉
黑地小幅木棉
白地小倉(洋服地)
黑地小倉(洋服地)
新苧各種
晒リンネツト
(新苧、漢陽苧原糸)
支那入足紬類

右在庫品種々勉强特別割引値にて御注文に應じ可申候間多少に不拘御用命被下度候

京城府本町二丁目七十六番地
京城織紐株式會社
電話二一八八番

◎勸業債券月賦販賣に就て

■弊社の債券月賦販賣は嚢に其筋に於て禁止せられたるものと異り內務省令に抵觸せざる十一ヶ月滿期の短期契約に有之然も滿期に限らず[illegible]多趣味なる方法を以て[illegible]

■尙一切町[illegible]禁止前に契約申上候既契約者には御加入當時の儘契約履行致し候間安心の上御繼續被成度候

■此際一層業務擴張の爲め全鮮各地に代理店外務員採用致候間御希望の向は大邱府元町一丁目六十九番地朝鮮監督所(長電二七一番)へ履歷書を添へ御申込相成度候

東京日本橋本銀町
大日本信託合資會社
社長 伯爵 小松重春

日本一
南北社

名人大家號
(七月發兌)
(定期擴大)

世界觀の名人大家……志賀重昂
學界二十四大家
名人大家觀……大隈侯爵
學界の名人
日本一時評……浮田和民
滑稽辯の名人大家……石丸天星
名人大家論……三宅雪嶺
東都の名辯護士
名流の觀たる名人大家……五十名家
政界に名人なし……福井三郎
名人土佐光起……小倉井蘆洲
杏林名家揃ひ
謠曲諸六藝先生……沒 蕭子
當代國秀大家
大阪の名人……新馬天人
大なる橙の樹……大倉桃郎
演藝界の二十二名人
青淵自傳……澁澤男爵
緣は生命の母……三石勝五郎
大阪陣……稲本日南
發明家番附・落語家番附
埋れ井(愈々本號より連載)……岡本綺堂
角界の第一人者……松居松葉
美人の影像
小說家の番附・文壇與太話……松林伯知
講談伊勢音頭……加藤咄堂
人間研究
落語會の大黑……三遊亭圓右

○同業者に限り卸値段表進呈可仕候
京城南大門通一丁目九十五番地
自轉車部分品卸商
清水自轉車店
工場 京城黃金町一丁目
電話二八九三番
振替口座京城三四〇六番

パイン萬年筆

商品を吹聽するにこの邊まで誇張を要するかパイン萬年筆に就ては一語の誇張を要せず萬年筆として備ふべき一切の効能と特徴とを遺憾なく發揮して品物夫自身が自ら其眞價を語るべし

萬年筆使用の快味を知らむとせば先づパイン萬年筆あることを御記憶遊ばさるべし

最新型螺旋式　六圓八十錢
銀浮彫裝飾付　四圓八十錢
實務用　三圓九十錢
學生號　二圓八十錢
ビジネス事務用ペン　一圓九十五錢

發賣元　京城太平通二丁目
京城日報代理部
振替京城三〇〇番

三越特撰の鰹節・銘茶

◇右潤澤に取揃へ居り候に付多少に不拘御注文奉希上候

鰹節・銘茶の商品券

◇御贈答用の御便利を相圖り體裁よき箱入として(金壹圓以上)調進仕候

但し此商品券は鰹節、茶其他弊店販賣の何品とでも御引換申すべく且東京、大阪、大連、京城の各所支店共通に有之候間極めて御重寶と奉存候

京城本町
三越吳服店
電話六〇一一番

東京每夕新聞經濟論說記者
下野新之助先生新著
忽ち四版
紡績業の將來
價二圓五十錢(郵料十錢)
金字天金美麗本
賣捌(東京堂、其他各地有名書店)

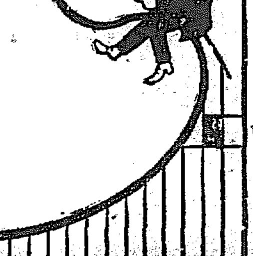
◎◎大阪朝日新聞批評　世界各國の紡績業の過去の事情を概說し、其現在即ち大戰の紡績業に及ぼしたる影響を論じ、平和克復後の情勢を豫測して、我國新業の根本問題に觸れてゐる。

◎◎萬朝報批評……諸編に頗る緻密なる實際調査を收めたり、大戰の紡績業に與へたる影響を探ねて今後の趨向を知らんとする者には好著述として薦め得べし。

◎此外東京朝日、報知、國民、中外商業、每夕等諸新聞の好評如潮

◎紡績株又は綿絲を賣買する者
◎棉花、綿絲、紡績に關する智識又は專門知識を得んとする者は皆、本書を讀まざる可らず
◎本書內容、目次は小石川、林町日本產業調査會へ申込次第呈上

發兌　東京神田　明治大學出版部
振替(東京)三三六五番



國勢調査に就て(一)

工藤國勢調査課長談

朝鮮に於ても今回國勢調査を行ふ事となり總督府に國勢調査課を新設し目下其の準備に多忙を極めて居るが國勢調査の行はるゝと云ふ事は朝鮮では今度が初めてである從つて施行の方法に就き種々研究を要し又一般の人々が國勢調査の

▲意味を理解 し多數の調査員をして其の主旨方法を會得せしめる爲めには多大の努力を費さなければならぬ這は甚だ單純な事業の如で然も其實却々の大事業である。國勢調査とは戸口調査或は民勢調査と稱せらるゝものと同一の性質のものであつて內地に於ても先般國勢調査局の新設を見朝鮮も同樣前に述べた通り初めて行はるゝ事になつて居るが臺灣は嘗時戸口調査部の設けがあつて前二回之を行つた經驗を持つて居るが朝鮮は內地同樣之を國勢調査と稱する事になつて居る、ところで此の國勢調査の主旨は何んであるかと云ふに國の基本となる人に就て種々の方面から

▲種々の事項 を調査し國の基礎となる可きものを明かにすると云ふ事である其の數を調査し其の職業を調査し其狀態を調査して國の活動力を知り總ての事を知り然る後之に對して政治的經濟的施設を行ふに非ざれば眞の施設は出來ぬのである世人或は云ふであらう戸口調査の如きものならば警察が既に行つて居るではないか……と然しそれは甚だ考へ物である警察の戸口調査簿には下婢下男若くは食客の名迄擧げられてあるかは疑問であると云はねばならぬ或は又多數の內で一人や二人間違つたからとて大勢には關係は無いと云ふ人もあるかも知れんが實際斯の樣な些細の點と思はれる事が

▲大なる結果 を生ずるのである人口率の增加と云た處で百人に一人位の割合であつて大したものでは無いシテ見れば人口が增加したからといつても果して增加したのであるか否かも事實上よるべきものは無い事になる況んや實際の民度如何に於てをやである先年東京市で人口を調査した際にも警察の調では百卅萬と云ひ市の調では百八十萬といひ結局大體に於て其中間の數を以て東京の人口と定められた事もあつた位で兩者の間に五十萬と云ふ大差があつたに見ても日本全國の人口の如何に不正確であるかが判るのであるが之と同時に文明國として其國の

▲正確な人口 さへも判らないと云ふ事は愧づべきである然し此の國勢調査を以て稅令賦課の爲めであるとか或は徵兵制度施行の前提であるかの如く思惟する者があつたら夫は誤れるの甚だしきものである從つて此調査は戸籍を基準とした者では無いのである

◎外米朝鮮移出船制

大阪商船は朝鮮移出外米約三千石の輸送を引受けたるが其積出期日は十五日宮島丸五百噸二十一日有馬丸六百噸二十九日須磨丸七百噸八月三日宮島丸百八十噸十一日大東丸八百噸計二千七百八十噸にして陸揚港は仁川釜山各等分の筈なり(大阪特電)

◎堂島先限開始 重役辭任す

大阪堂島解合不能紛擾の末十二日朝より先限丈け開始す上田常務理事宮崎監査役等辭任せり(大阪特電)

◎青木中將歸任

歸朝中なりし支那政府顧問青木中將は十一日商船哈爾賓丸にて門司港出帆大連經由歸任の途に就り(門司特電)

◉世界產鐵高

世界の含鐵量は有限か無限か容易に判斷し能はざる難問題なるが英國地質學會の調査に依れば世界の鐵鑛中現在化學工業の發達程度に於て利用し得べしと認めらるゝ數量は約二百四億噸にして此鐵鑛を鐵に加工すれば約百億噸に減少したるが最近數年間世界に於ける鐵石消費高は約一億七八千萬噸なれば此消費高が將來增加せざるものとするも世界の全鐵石は僅に百十廿年間を支へ得るに過ぎず然るに現時の狀況は鐵の需要高は非常の勢ひを以て增加しつゝあれば今後僅に五六十年を支持するに過ぎざるべしとの推斷なるが此推斷は需要の增加と共に鐵鑛の發見に伴なふて增加するの關係を無視し世界の鐵鑛は大正六年に於て三百噸に達したる事實は既に其根底を覆へしたるのみならず又未發見の鐵鑛は世界の各地に現在產高に數十倍するの含有量あることを度外に置きし點は恰も米國林業者が世界林木の生命は今後五十年間にて全滅すべしと言斷したりと相伯仲せり世界第一位の鐵國たりし英國が米獨に第一二位を占められ現在鐵產高獨二千萬噸英一千萬噸即ち其勢力二分の一に下れるは斯る憶測的机上地質學者の多き結果なるべし

◉朝鮮產金減

朝鮮に於ける產金の減少に就ては既報せしが上半期稅關統計に付その輸移出を前年同期と比較するに本年金の輸移出は三百十七萬三千圓にして之れを六年の四百七十……萬圓に比すれば百五十七萬……の激減となり殊に六月に於……量の著しく減ぜるは注目……

而して均しく產金減と云ふも外人の經營に係る遂安雲山殷山の諸金山の產額は大體に於て前年と差なき由に付內鮮人採鑛者の打擊程度は少からざるべしと尤も淺野氏の經營する順安の砂金鑛の如きはドレッヂャー据付のため採鑛を休止し居り斯くの如く全然事業を休止して時局の變化を待ちつゝあるものも多しとの事なり

◉棉花移出增

前年の約二倍

朝鮮綿絲布高に伴ふ原棉の暴騰と朝鮮內に於ける棉花作は反別の增加より來る棉花の增收は本年上半期に於ける棉花內地移出を激增し上半期移出は五百五十四萬圓の新記錄を示し前年比較增中米の八百八十九萬圓に亞ぎ三百六十三萬圓を增加し居れるが米の增率は前年の約六割なれども棉花は前年の二倍となり居り棉花栽培地たる全南慶南地方農民の收得增し著しきものありと

◉延平島漁業狀況

黃海道延平島に於ける石首魚漁期は六月中旬を以て終了したるが本期中の成績は出漁船數內鮮人共例年に比し著るしく減少せり其理由は(イ)本年は內地山口縣人が內地人及び鮮人漁夫に對し前金を貸與し群山沖合に於ける鯛漁業に從事せしめたる爲め各自自由漁業に從事することを得ざるもの百餘艘に達したること(ロ)安東縣及び平南漢川方面の出漁者は例年本島を經由したりしも本年は何れも直接航行したること(ハ)鮮人舊來の仲船網及び湍網の減少せるは內地式鮟鱇網の利益を知り之に代りたるに依る而して漁業の狀況は第一期に於ける成績甚だ不良なること第二期盛漁期に於ても天候概ね不良なりし爲め一般に悲觀したるにも拘らず例年に劣らざる漁獲高あり殊に本年は魚價高騰の結果全額廿六萬三千三百七十圓にして前年の十六萬四千七百九十九圓に對比すれば約六割增加の好成績を擧げたりと

大阪より

▲塗料界好況 我國のペイント事業は時局勃發後實行の好況に亞で市價の騰貴より既設會社の擴張乃至新設會社の創立を見るに到り其輸出狀態は大正六年度は五年度より倍額以上の增加を呈し本年は一月より四月迄に於て早くも一日八十三萬斤の輸出をなし居れるが如き狀態にて相場は例年梅雨期には引緩みを呈するを常こなり居れるに拘はらず本年は反つて氣丈の成行を呈し……場合の……唱へ……府……

……してブローチ古棉先物九十圓に奔騰したるは全く思惑相場の買方優勢なるに依れるものにして恰も本邦綿絲相場五百圓近き時期と情狀相似たるものあり早晚反動的暴落を演ずるは投機心理上必然の趨勢なるべし米棉相場が最高値より三十圓方暴落して目下八十五六圓にあるに徵し印棉相場も人氣一變して七十圓臺に暴落するは略想像するを得べし印度政府は思惑の弊に鑑み棉花取引所を公設したるを以て價格の點は無干涉に決定し居るも自然公設市場となれば保……無制限の思惑を調節する……從來の取引は幾分改良……されば早晚一變……海外輸出擴性相場……綿絲布の期待時は……すべく觀測せらる

◉釜門間運賃値上

從來釜山門司間聯絡運賃は釜山下關間運賃と同一なりしが今後は釜山下關間運賃に下關門司間の運賃を加算する事となれりと

◉鮮銀定時總會

朝鮮銀行第十八期定時株主總會は來る八月二十日東京銀行集會所に於て開催に決定二十二日總會迄株主名義書換を停止す可しと

◉京龍臨時列車

滿鐵京城管理局にては七月十一日より九月十日まで日曜祭日の外左記の如く臨時列車を龍山南大門間に運轉すべし尙客車は三等のみなりと

▼龍山發 午後零時十五分發南大門驛著零時二十一分
▼南大門發 午後零時三十一分龍山著同三十七分

◉移住費貸附總額

東拓移住規則に依る移住費貸附中本年移住の第七回移民に貸與せる金額は六月末現在一萬一千餘圓なるも未だ全部完了せず右に關する直接事務は各出張所に於て取扱ふこと、なり居れるため京城支店は單に總括的事務を執りつゝありと而して六月末現在に於ける總貸附額は二十二萬七千圓なりと

◉くと移民陶汰了

以外者手中なりし東拓會社の移民陶汰は此程全部の終了を告げ二百餘戸の解約を行ひたりと

◉平南最近漁況

平安南道沿海に於ける最近の漁況を聞くに鮟鱇網は地船鎭南浦三十一隻漢川四十二隻なるが本年の通漁船は三百乃至四百隻の多數に達せり而して南鮮及び黃海道沿岸が概して不漁なりしに拘らず本道沿岸は豐漁にして平均一隻の漁獲高は鎭南浦千六百圓漢川一千圓を算せり漢川が鎭南浦に比し漁獲高の少なきは市價の下落と漁期の遲れたる結果にて漁獲物はグチ、タチウヲ等なれば塩藏として山間部に供給しつゝあり尙ほ介析網は鎭南浦を根據とせるもの四十隻此の平均漁獲高七八百圓にて何れも生魚の儘平壤鎭南浦に移送したるが同漁は本年一般に良好なりイカナゴ時化の爲め漁獲高は前年の半に過ぎずハヘナハは地船七隻黃海道漁船十八隻にて一隻の平均額一千二三百圓に達せり

內地人郡守(十)

(迎日) 島田官吾氏

氏は三重縣龜山町の人明治四十年名古屋稅務監督局事務官より韓國政府に招聘せられ漢城稅務監督局事務官となり次いで併合と同時に慶尙北道廳在勤を命ぜられ

◆爾來 八年間長官々房主任として德望あり往訪の記者に語つて曰く『別に取り立て申す程の感想もなければ抱負こいふものもない日常の職務に付いては

◆本府 並に道に於ける一定の方針に依るは固よりなるが尙實際に在んで土地の狀況其他を參酌し適宜の所置を執る考へである、只此際最も危惧に堪へないのは何しろ始めての

◆試み であるだけに鮮人側の眼孔に今回の擧が如何に映ずるであらうかこいふ點である、渠等をして聊かも疑惧の念を懷かしむる事なく却つて今後益々我が新政に浴し安んじて

◆其業 を勵むやう善導する事は我々の最も重大なる責任であると信ずる、希はくば渠等をして此一點の誤解を挾むの餘地なからしめたいこいふとは我々の最も痛切に感ずる所である、其れには唯々至誠事に當るの外はない』(大邱)

◉憲兵採用試驗

京城憲兵隊本部にては十三日步兵第七十八聯隊及び同七十九聯隊よりの志願者三十六名に對し採用試驗を行ふ可しと

馬山短信

▲慶南馬山分會にては十一日午後一時より普通學校に於て發會式を擧行し三增支部長北村副長の訓話等ありたり▲青年會にては十三日普通學校に於て發會式を擧行し來賓の祝辭等を行ふべしと▲大邱地方法院に榮轉せる尾家判事密陽郡守に轉任せる全昌原郡守釜山財務主任に榮轉せる馬山府書記草場信次三氏の送別會を十日午後六時より望月樓に開催せるが出席者六十餘名非常の盛會なりき▲馬山港に於ける六月中の貿易額は輸移出十一萬一千三百二十五圓輸移入八萬七千二百四十六圓之を前年同期に比すれば何れも增加の方なりと▲岡山縣邑久郡教育會主催の朝鮮教育視察團は七月上旬出發馬山鎭海方面の視察を爲す由人員は十八九名なり

◉小樽高商生旅程

鮮滿見學の爲め十一日夜入京原金旅館に投宿せる小樽高等商業學校生五十四名は十二日總督府李王職秘苑景福宮館銀商品陳列館等を視察せるが一行は十三日朝仁川視察に赴き午後一時四十分歸京同夜九時五十分發列車にて北行長春撫順大連見學の上引返し平壤同學師校の豫定なりと

□電報不著

東京方面よりの電報は既記の如く連日故障大延著を來し居りし處十二日午前八時より全く杜絶せるため本紙締切迄に一通も到著せず依つて締切後著の分は夕刊に掲載すべし

▲ラシー麻糸 近時麻絲は騰貴の爲め普通品こしては一般需要に適せざる高値となるを以てラシーを麻絲に代用する織物多く其上等品は之を交織すれば本麻と唱ふるも素人には判定付かぬため近時十二三圓の麻絲は多くラシーの代用品多くそれ以下の麻物は皆ラシーに侵され殆んご純麻絲は高價品の外見るを得ざる事となれりと

▲軟弱の金融 翌日物六厘見當無條件七厘月越は一錢四厘見當に低落せし金融界は月先の處底意尙軟弱の氣勢なる故更に一段の底落を見るやも知れざるもの、如く手形割引歩合ひも一般資金潤澤の餘波を受け五毛方の安含みを示すに至り興業債券募集等の影響は感知せざる狀態なるが一面に於て上半期の利益配當金も大部分は各銀行の預金化したる反映ならん

▲肥料商況 豆糟は引續き軟弱にして期近物四圓二十錢現物二圓十錢の處にて六日手合せありたるが結局インボイスの上にて一圓二十錢安なり硝子は八月入十月入何れも政府筋に於て大部分買占められたるに掲て露西亞將校の來邦は兵器火藥に及ぼすべしとの先見越しにて底堅く六月積二百五十圓を示せるが買つて五十二三圓買つて四十八九圓ならんも右樣の次第に在荷皆無に等しく此の儘一二月の肥料期に入らば或は豫想二百八十圓を實現するやも計られず硫安は田舍買三百八十五圓十錢市場現物三百七十五圓十一月十二月先物三百四十五圓を一二月物三百三十五圓を呼びたり保合の狀態なり(大阪支局)

▲足立殖產課長 事務視察のため十日州方面に出張十三日夜歸任の筈
▲田村盛三郎氏(東京實業家) 十二日夜入京山本旅館へ
▲竹內才二郎氏(大阪實業家) 同上
▲肝付幽三氏(釜山實業家) 同上 朝鮮ホテルへ
▲谷口與四郎氏(晉川鑛業家) 十二日夜退京

◉取消 十日夕刊二面所載『市場統一を策す』中『京城□當局者云々……』は取消す

▣百聞百種▣

米國に獨探が多いのは誰も知つて居る處だが其の獨探の多くは獨人でなくて大抵は米國人か中立國民の獨探であると云ふから驚く▲獨逸が何うして其樣な連中を獨探に引き込むかと云ふと其の手段は至れり盡せりである▲先づ金を欲しがる連中には幾等でも出し女を欲しがる連中には早速其の女を世話し又利權を望む者には其の通りしてやる處は巧なものである▲此の頃の巧妙な事は一寸他國人の眞似の出來ぬ處だから米國のみならず何處の國でも獨探防禦には徐々苦心して居る▲露國の避難民は主に東洋殊に日本から米國へ懸てウロウロして居るが貧乏人の多いのは如處でも閉口して居る相な▲夫でも女は女中なり妾なり給仕なりに雇はれて行くが困るのは男である▲勞働は許されずと云つて別に仕事はなし乞食をするより他に仕樣がない▲本國に居れば危險だし逃れて來れば彷ふるより他に方法はない哀れな露國の現狀が思ひやられる▲最近獨逸などは紙迄節約する爲め日本流の風呂敷を用ひ……節約する爲マッチの使用を禁じ……ものを用ひて居る▲其から……は追々日本の昔を眞似て居るのに日本は歐洲の昔を眞似る事に汲々として居る……りも寧ろ日本人の一考を煩はしたいものである

無佛居士送別會席上(二)

志賀 敬愛

卓識宏才誰復疑。陶君進退好隨時。料知他日歸城地。腹稿名篇天外馳。

學圃曰、前半十四字、曾得□讚、

健筆揮來漢水頭。堪欽木鐸幾春秋。修交胸腹藏温血。經國文章懷遠猷。杜宇聲聲人惜別。柳條萬縷雨含愁。愚堤風月東歸客。須記當年壇上遊、

學圃曰、後端太哀婉、

齋藤 三寅

無佛翁龍誰又疑。夙知時務值多時。雞林今日風雲亮。一笑飄然千里馳。

高踏雄吟適朔雲。攄抓梗槪抂屠氛。起風呼雨誰何處。權域長留筆硯勳。

學圃曰、二首不踏于平板、雞林一笑十四字殊佳、

兒島 九皐

文。炬喂噴盛名馳。又有經綸天下知。臨別殷勤相囑記。才臣爲贈啓蒙詩。

學圃曰、最懇之情可想、

田淵 黍洲

木鐸高鳴釋世疑。攄抓梗懷知時。忽收雞硯君將去。臨別欲停輪轉馳。

學圃曰、又是情深之作、

孤鶴一聲雨九天。雞林八道忽醒眠。何圖今日向東去。草木山川總悵然。

學圃曰、前半比喩得宜、

◉獨墺軍勢力

……アック軍司令部の調査を基礎とすべき……

……五、アック方面にありては赤一萬二八千の兵員に達し居るが如……

……は十日より設電話申請につき三家田村宗介氏は十一日病逝去せり(京都電報)

……にては十三日(土曜)午後六時より本山……

寫眞術 獨習者無二の好指南 高尙優美の娛樂
寫眞術成功要訣
此際 入會者は入會金全免其他種々の大特典あり 見本附會則送呈
獨習の好季 東京牛込局區內 振替東京二三五八四 大日本寫眞學會

珍品書畫陳列廣告
古來北京に於ける古今名人の書畫玩物の高雅なる逸品非常に多かりしも方今其大部分は大家紳士の珍藏する處となり市場に出る如きは甚だ稀に見る處に候處今回弊方に於ては古大家珍藏の粹を拔きたる逸品多數を輸入陳列致置き候間御散步旁々各位の御光臨賜賞の程願上候
京城長谷川町 書畫研究會下層 翰墨林告白

朝鮮總督府編纂「最新刊」
東部西伯利地圖
定價金壹圓五拾錢 郵稅二錢
部數僅少品切れとなるの恐れあり至急御注文被下度候
發賣元 京城太平通 京城日報社代理部 電話長六〇〇九番 振替京城三〇〇番

謹啓 益々御健勝之段奉大賀候陳者齋藤大崎工場儀從來一方ならざる御愛顧を蒙り御蔭を以て日增に盛大に赴き候段厚く御禮申上候今般業務擴張之爲め營業一切を新設の高砂鐵工株式會社に讓渡す事と相成り技術員其他從業員全部を引繼ぎ小生は同會社取締役兼營業部長として從事致す事と相成候間何卒倍舊の御引立相仰度奉懇願候先は右御挨拶申上度如斯に御座候 敬具
大正七年七月
齋藤大崎工場主 齋藤省三
同 工場員一同

拜啓 愈御清榮奉大賀候陳者從來齋藤省三氏經營の齋藤大崎工場の業務一切を今般弊社に於て繼承致候事と相成り營業科目を增加し一層業務の擴張を謀り懇切を旨とし大に勉強可仕候間何卒齋藤大崎工場同樣御愛顧御引立に預り度此段御披露旁御依賴申上候早々頓首
大正七年七月
東京市外大崎停車場前
高砂鐵工株式會社
取締役會長 原邦造
常務取締役 大橋光吉
取締役營業部長 齋藤省三
取締役 子爵 伊東二郎丸
同 伊藤欣二
監查役 若尾璋八
同 金子元三郎
相談役 大橋新太郎
顧問 工學博士 大塚要

中風せきする病
患者治療法は多年自家法研究の京都市粟田御門內外川崎自家法研究所 病名記入申込ば無料回答

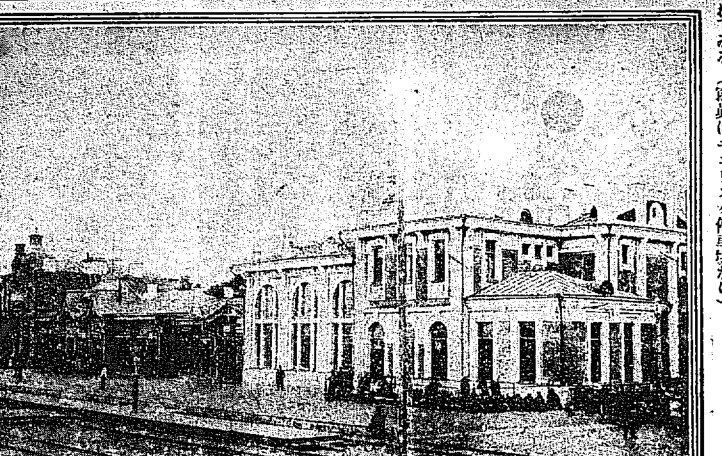
あ安住かとり線香
信用生產額共第一
「代表的最優品」
痛快極まる本品の効果!
蚊群忽ち全滅して身は理想の樂郷にあり
大阪北區富田町 安住大藥房
到る處の藥店及び荒物屋にて販賣す

國末式ベント金庫
進歩せる學理と最新の機械力とにより製作せられたる……
國末式ベント金庫は人爲的破壞は勿論猛烈なる熱火と重荷物の墜擊に無限の抵抗力を有するは國末式ベント金庫の本領とす
內閣諸官省御用 金庫製作所
國末金庫店
東京市日本橋區通四丁目 電話本局三八五一 振替東一九九〇
◁寫眞入商品目錄は御報次第進呈仕候

宮內省御用達
中元暑中御贈答用
三ツ矢サイダー 平野水 コローナ
帝國鑛泉株式會社
京城三ツ矢サイダー組合
組合員 龜屋商店 河野出張所 辻本商店 山邑支店 藤田商店
事務所 京城明治町 山邑京城支店 電話八四九番 振替貯金口座一、四四九

資本金壹千萬圓
頭取 安田善三郎
株式會社百三十銀行京城支店
京城本町壹丁目
電話長五八番一九四番 振替貯金京城一一三番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有

浦潮に於けるチエック・スラヴ[illegible]
[illegible]過激派軍中に過激士官[illegible]
◉中部者殺害[illegible]
◉田村宇之助氏　京都の[illegible]



◇チ軍の占領したるニコリスク　チエック軍は遂にニコリスクを占領した。かくて更に夕刊電報所報の如くハバロフスクを陥る、ならば、イルクツク、オムスクに於ける反過激派の同族チエック軍相呼應して過激派に對すべく事重大を加へた。この際、此處、根本的に聯合國側の緊張を要すべき新事態なりと云はれてゐる。（寫眞はニコリスク停車場なり）

◉漁獲の魚を沖から沖へ

沖買ひをして九分通り内地へ

◇これでは、なか〳〵魚は廉くならぬ

仁川沂海を中心として南は全北忠南の沿岸から北は黄海道一帶の漁場にかけて例年ならば溌溂たる紅色の鯛や大きな鰻或ひは石首魚や鯖と豐漁に飽くほどの好漁季であるのに拘らず今年は一向に肴が無い冬の少い頃から滅法な高價に條儀なくされて一皿の刺身をさへよく喰得なかつた魚黨は此の多かるべき旬季になつても相變らず昂い高いで思つた魚が手に入らないので困つて居る

◙何故今年は魚が　獲れないのかと云ふと決して獲れぬのぢやない漁獲は却つて例年よりも多いのだが朝鮮に水揚する漁獲物が無くなつたと云ふのである去年の冬から内地に於ける漁獲物が著るしく減少したに引換へ魚の需用は世の中が好景氣である丈け増加する一方である魚價の如きも勿論昂いが高からうと安からうと斤際事には少しも頓着ない幾らあつても足らぬと云ふ勢ひ而も船價の暴騰海運の好況に伴れて今迄トロール漁業に從事してゐたトロール船等は特もない漁撈に從事するよりも別途に使用したが遙に有利と云ふ按排でトロール船が減少する從つて漁獲物は少くなると云ふ之れではならぬと

◙朝鮮沿岸の漁獲　物を買占めて内地へ取らうと著手したのが下の關の日本水産會社を始め漁業の大手筋である之等の連中は先づ沿岸に出漁する漁夫に資金を貸付て獲物の賣買を契約させる一方數隻の石油發動汽船を朝鮮沿岸の漁場に派遣して現場で右から左へと買上げるそしてそれを母船に積んで氷詰めとして内地に直送する其量は沿岸の漁獲物の實に八九分通りを占むると云ふから堪らない之がため又仁川及び群山の水揚高の減少した事は夥だしいもので仁川水產會社の如き六月中の水揚數量は僅に五千餘貫も減つて居ると云ふ有樣

◙之では安い魚が　食へよう筈がなく内地から蠶食されつゝある朝鮮の水產界は大した打撃であるのは勿論であるが一般の魚黨も亦杪から困る譯である斯んな具合で魚の引つ張り凧をする結果儲くるのは漁夫で今年は漁夫の當り年、漁獲物は相當の値に賣る上に漁場の現場で右から左に金になるので大ホクホクだが困るのは朝鮮の台所向で幾ら魚は獲れても顔も見せずに沖から沖へと直ぐ内地に取られては何時迄も高い魚に弱らされねばなるまい（仁川）

◉東海岸一帶に大暴風雨

襲來せん……

南洋方面より襲來し十日琉球附近に現はれた低氣壓はその後益々發達しつゝ北進して十二日朝九州附近に迫り中心は七百三十粍内外となり近來稀有の深度に達したるもの、如くその後北進して半島の東岸を脅かさんとする模樣あり之が爲め南岸及び咸鏡南道以南の東岸は十二日朝來風勢強く豪雨を見たる所あり該低氣壓にして今後猶ほ此の進路を繼續する時は今明日に亘り東岸地方一帶に大暴風雨を起すべし（十二日午後二時觀測所發）

◉山陽線更に決潰

下關急行不發

山陽線三田尻富海間は十一日午前九時豪雨の爲め線路決潰せし信號列車と共に不通となり同日下關發急行列車は不發となりたり（門司特電）

◉汽船の坐礁

元山長崎間航路船第二大福丸は十一日夜八時頃港外にて坐礁し目下應急手當中なるが貨客には別條無き模樣なり（元山特電）

◉水產大學

―を朝鮮に

設立候補地は馬山統營及釜山

文部省は明年度豫算に於て全國水產重要地に南北水產大學を新設する計畫にてこれが經費を計上せりこのことにて水產界に多大の注目を惹きつゝあるが二大學中の一個は朝鮮に建設するの意嚮を有し朝鮮に於ても氣候の關係交通の便利材料の採取其の他に於いて南朝鮮中馬山統營又は釜山を中心として巨濟島、濟州島等の如き魚族蝟集の地點は悉く實地指導的教授地圏内に入るべく從つて其敎綠圏の面積頗る廣大の區域を要すべきが此設立地として尤も有力なる候補地は馬山統營釜山の三地也（馬山支局）

◉幼年裁判

漸次全國で實施

◇裁判官が慈父の心持で少年犯人を裁判す

司法省にては幼年裁判法は經費其他の關係上第四十一議會への提案困難なる事情あるを以て取敢ず現行法令の下に

▼▲幼年裁判部を設置する事に決定し先般鈴木次官より各裁判所長に訓示する所あり既に東[illegible]戸、名古屋外數箇所に設置せられ漸次全國に設置せらる、筈なるが幼年裁判所は特に老練なる判事を選任し審理は丁年者に對すると全然其方法を異にし恰も

▼▲慈父が其子を懲戒するが如き溫情を以てこれに對すると共に身元調査には愼重なる手續を盡し其公判は被告の心理狀態を平靜ならしむる趣旨を以て成る可く傍聽者の少き時を見計らひ開廷すべしと

◉誓つて博士に

なつて見せると云ふ篤學の朝鮮青年

◇岡山醫專を卒業して岡山醫◇

岡山市内相生橋下手河岸縁の貝原と云ふ下宿屋から年の頃二十四五の青年が時計よりも正確に時間を守つて毎日中學

◆岡山醫に通つてゐる、下宿屋の婆さんも『隨分色んな方をお宿めしましたがあの方程キチンと時間を守つて勉強する人はありません』と云つてゐる、時計よりも時間を正確に守る人とは朝鮮京城生の李甲洙君と云ひ昨年岡山醫專を卒業したが普通學の素養が無くてはトテモ大成覺束ないとあつて更に岡山醫の五年級に宙返りして孜々として勉學してる努力家である、君の家は立派な兩班で父親は元

◆宮内官を勤めた人で今は李鍾聲といふ辯護士だ相である、李甲洙君は普通學校時代より成績がズバ拔けて優秀で京城の高等普通學校を終へたのは十八の歳若し君が平凡の朝鮮人であつたならば其の限の資産家の坊ちやんとして鮮人並の一生を終つたであらう、所が君は大いに毛色が變つてゐる高等普通學校卒業後、『僕は懸命に勉強して社會の爲に盡したい是非とも内地へ行つて勉強がしたい』と父親に懇願した李君は生來

◆蒲柳の質なので君の希望は容易に容るゝ所とは爲らなかつたけれども死んでもと云ふ固い決心に動かされ父親は遂に首を縱に振り君は大磐石の決心を固め石にカブリ附いても偉く成らねばおかないと岡山へ旅立たのは今より五年前爾來分秒を惜んで勉強し昨年非出度醫專を卒業し更に東大を志望したもの、語學の基礎がなくてはと

◆刻苦勉勵し自己に鞭打つて居るが四十歳までは藥物學の研究に沒頭し誓つて博士號を得ると云つて居り日常書籍を手から放さない程勉強するので受持教師なども少し讀書を控へて運動してはどうかと云つても斯うして歩いて居ればいゝ、加減運動になると熱心に研究を續けて居る、天は自ら助くる者を助くといふ、君が金的としてゐる博士號も恐らくは美事に贏ち得る事であらう（岡山特信）

◉日本を觀た喇嘛僧の自覺

最も深い印象は……

今奉喇嘛僧一行を引率して内地に向ひたる釋興笑師はこの程京城通過東上したるがその談に曰く『此奉天で解散式を擧げたが何れも大滿足で日本各地で撮つた寫眞を額にして贈つたのと山の樣に買つた土産を携へて喜んで歸つたが聞けば却々評振が好いとの事であるし尚ほ彼等も日本に來て大に自覺した處もあるから將來は漸次改革も行はれようが明年からは五名宛連れて來る事に改めた多人數では萬事行屆かぬ事もあるしツイ不平を漏らす樣な事も出來て來るから此の春來た喇嘛僧が一等印象を深うしたのは京都に於ける各管長の歡迎を受けた事ではあるまいかと思ふ下關でも隨分歡迎されて欣んで居たが例の李鴻章が泊つて居た引接寺に行つた事に就ては何れも輕侮の念を抱いたらしい若し吾々蒙古人が日本と戰爭をした場合國を取られて仕舞つても講和になんか來やしないと云ふ蒙古人特有の性質からして支那人を輕視する念を更に新にしたらしかつた

◉濃霧の玄海を墓に

‖青年投身後報

◇手帳に認められた數語

立ち罩むる濃霧と物凄い玄海の怒濤は見るだに恐怖の念ひを起す十一日の拂曉二等室右舷の一隅に名殘惜しさうに曉の窓に靠れて

◉寢臺車に洋服掛

九管で實行する

世界最初の試み

鐵道院九州管理局に於ては今度運賃値上げの最初の日を期して管内各一等寢臺車に洋服掛を設備し十六日より實施することになつた、それでお客は洋服を脱いで給仕に『洋服掛を貸して吳れ』と頼めば給仕は其保管の洋服掛をお客に役立て、豫め設けたる適當の場所に吊下げて吳れることになつたから誠に便利調法である、何でもないやうな事であるが之は正に世界各國未だ曾て行はれて居ない所の事柄であつて旅行の愉快を増す上に於て乘客の便利は多大なるものであるだらう、先づ同局に於ては管内の一等のみに當分の中試みて追つては二等寢臺車にも備付けることゝする筈である

霧の切れ間から

▼釜山港を眺めて居た青年は既報の福岡縣粕屋郡古賀村の添田潤（二五）と云ふ男であつたが默つて靜かに立ち上りデッキに上らうとボーイを呼んでドアーを開けさした、ボーイは此朦朧な天氣にこれから濃霧と雨で眺望を求むる事は

▼不可能だと再三止めて見たが船醉ひの爲か目眩がして嘔吐も來さうで苦しいから甲板で少し雨に打たれたらと云ふにぞボーイは其の儘潤を一人殘して室へ歸り食事の用意などに取り紛れて居たるが八時半新羅丸が無事棧橋に横付けになり乘客は全部上つたのに潤の姿の見ねぬより

▼船室へ　行つて見ると此處にも男は見ねず只十一圓七十錢入りの蟇口と銘仙單衣、絣織、モスリン白兵兒帶、黑絽の羽織、金縁眼鏡などを入れた手提鞄が殘つて居る許りに船中大騷ぎをしたが別に遺書とてもないので原因に就ては知る事は出來ないが

▼遺留品　中の手帳に（一）[illegible]（二）良心の[illegible]（三）[illegible]（原文の儘）

▼と記し　てあつた何れにしても潤は悶へ悶へた末玄海を死に所と選んで飛込んだものらしい（釜山）

◙家庭寫眞が流行する

◇なるべく自然に寫せ◇

寫す時の注意

設備の不完全な小さな寫眞屋などで寫眞を撮る事は第一光線が自然其儘でない爲に生き生きした血の流てる人間が現はれて來ない子供などは病院か何處かへ連れられて行つたと同一の

◇◇氣分に　なり易い所から近頃は家庭寫眞が流行してゐる寫眞師は求めに應じて其の家庭に行つて自然の光線に依つて自然の打ちの溢れた寫眞を取るのであるそれについて寫眞部員の語るところをきくに

◇◇御婦人　方が寫眞をお撮りになる場合白粉をお付けになるのは決して惡いとは申されませんが餘り厚化粧をなさいますと泥人形のやうに生色を失つたものが出來上りますから成るべく薄化粧が宜しう御座います顔色は背景の色に依つてどんなにでも白く見ゐるものです

◇◇手の置き所も至つて大切なものですが小さく見せるに閃顔の向方と均合を取るのがよいと思ひます彼のマドンナの額でも手一つで何萬圓の價格があるといふ位ですから手は誠に大切なものです次に眉毛ですが之は

◇◇光線の　取方で往々半分位消えて了ひますから大抵の寫眞屋では修正の際針で削つて出すやうにしますがそれでは自然を打毀して了ひますから前以ておひきになる方が宜しう御座いますお召し物は縮緬お召に限ります羽二重式の物は消極的になつてよろしくありません又

◇◇御婚禮　などの寫眞には紺戸とか紫とか又は渡色紺戸のやうな着物をお用ひになりますが此等は感じが強く白くなつて面白くありません尤も紫色乾燥を用ふれば感じが良くなりますが戰爭以來非常に高くなつてゐますから黑ッぽい物

◇◇荒い物　が宜しう御座います顔の向方、體のこなしなど自分の事を能く御存知の方は其の事を遠慮なく云つて寫眞師の參考になさるが宜しう御座います氣分の惡い時には撮らぬやうになさいとのこと

◉藁團子

其成分中有害なものはない

◇結構な鷄の餌

藁の利用法は頗る廣く壁の心床、紙原料、草履、壁の寸莎、燃料、炭俵、肥料、菰、蓆、繩、其他などに用ひ來たゞけでも一箇年一億[illegible]圓を超ゆる、一反歩の藁が十圓、[illegible]で三億圓、加工すれば

◆◆六億圓　にもなる、然るに最近明石の男爵教諭辻川巳之助氏の發表せる説に據れば藁の新利用法として鷄の飼料に供すべしと云ふことである『之を[illegible]の稍ゝ成熟したものから藁と種莖を去つた殘りを一分位に細斷し之と糠とを各一合五勺づゝ混合して三個の

◆◆團子に　作り一日三回に與へる、或は細斷した藁を煮熟し由屑、青菜などを切混ぜるか或は又糠と共にコプラミールなどを混ぜれば一層妙である牛馬は藁で養はれ人間も飢饉歳には藁を喰ひ現に露國では食糧缺乏の爲め過半

◆◆藁を混　ぜた麵麭を喰べしゐる、鷄の食用にならぬ法はない』且又有利な方法につき某氏は語る『鷄を放養し任意に餌を漁らせるので無く、一定の場所を限つて飼養する場合には藁を用ひることは頗る有利である、元來食物は純粹の營養分のみでは

◆◆營養は　攝れても直に空腹になるが纖維性の藁を細斷して與ふれば能く空腹を凌ぐのみならず相當に消化されて[illegible]養分を供給し鷄の生育を助け[illegible]にもなる、藁の成分の中には何等有害な物を含んで居ない』

せきする　永年セキズイ病にて手足引ツリ足不随腰痛みシビレ等に効能正しき要藥あり二錢切手封入申込次第詳報す　播州國明石西魚町柳　元木本家

目前の利益　此目藥一滴・世論の焦點はコレニ　目藥　いつでもよくきく　ロート　しみず痛まず全くヨクキク目藥　京城黄金町東京藥地タイガー商會

第壹回決算報告（自大正六年八月六日 至同七年四月三十日）
（負債之部）（資産之部）
未拂込株金　三、七五〇、〇〇〇
建物　一二〇、六〇〇
什器　一八、七三〇
貯藏品　一四、九六〇
未收入金　三、四八〇
假拂金　二、八二〇
預金　一一、二六〇
金現在高　一八、七〇〇
合計　五、〇二二、三五〇
株金　五、〇〇〇、〇〇〇
當期純益金　二二、三五〇
合計　五、〇二二、三五〇
右之通リニ候也
大正七年六月　朝鮮製糖株式會社
取締役社長　專務取締役　常務取締役　取締役　取締役　監査役　監査役　監査役

朝鮮總督府　購買入札　第一號 第二號 第三號 [illegible]　右購買ス詳細ハ大正七年七月十三日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

最新刊　書名　著者名　定價
◎世界各國弱點の研究
新編東洋の將來
獨乙文法辭典
史話と文話
◎鮮語階梯
過渡期の救濟
支那漫遊記
布陣挑戰法
鐵道旅行案内
京城本町　大阪屋號

天下一品　仁川本町三丁目　增本酒店

元植村捨藏　右者市の都合により改姓届出候也　大正七年七月十一日　市ノ瀨捨藏　忠淸北道廳内

製麵機械　最新うどんそうめん特許　京城府元町　眞崎製麵機店　電話下谷

京日案内　京城日報社

舊恩給　年金恩給　博多屋本店
中古ミシン買入　楠商店
ほねつぎ　柔術道場
江州屋本店
百円進呈
りん病　ぱい毒
帝國醫科大學病院
分拆料百圓
にせ物
有田ドラッグ商會本部

内外科　小兒科　花柳病　京城本町二丁目　高井醫院　院長 高井貞治　副院長 松崎正彦

胃病ならイの一番　イカイ胃散　健胃　胃散　衛生堂　胃弱症の特効劑
驚くべき藥効　イカイ胃散は一時的の消化藥にあらず、根本的に胃を强壯にし消化力を増進す、一度イカイ胃散を服用せば、胃に無限の爽快を覺ね、胃病に特有の不快の感は消失し、食慾と元氣は著しく增加すべし
定價十五錢、卅錢、五十錢、壹圓、貳圓　本舖 大阪市江戸堀 猪飼史郎藥房

專賣特許木材防腐防蟲劑　◎クームヒン　塵芥箱下水板家畜小屋等に塗布する時は木質の保存のみならず蠅及蚊其他の昆蟲を撲滅し其來襲を絕無ならしめ消毒殺菌の効甚だ現著なり　定價　京城旭町一丁目　山田商店

治淋・國産・新藥　ゴノサルビン　GONOSALVIN　白檀油代用藥　優秀卓絶　廉低　價格
効果的確にして消化器障碍なく純内國産なれば價格從て低廉　發賣元 大阪　三友製藥合名會社

純良の藥品と賣藥が揃つて居ます　クラブ化粧品代理店ですから御値がお安いです　京城本町二丁目角　古城賛化堂

妻の心（三十六）

六の八 小林蹴月作 武内桂舟畫

『それでも何でも妾、町川さんこは、只ッた今方、綺麗に手を切つて了つたのよ。』

『そんな分らん奴があるものかね。本人の町川が幽靈にでもなつて、お前に逢ひに來たらば知らん事、什う考へて見たつて、お前こ町川君こ、今夜あたり出會すべき理由がないんだからね。』こ、櫻井は、絶對に若龍の云ふ所を信じようこも爲ない。

『ほ、ほ、ほ、それぢや云ひませうか、櫻井さん……。』こ、若龍は、幾分勝誇の面色で、櫻井の不審に充ちたる顔を視ながら、

『實はね、櫻井さん、禮子さんが出て入らツしたのよ。』

『わツ、禮さんが來た？ 彼の病人の禮さんが來たのか。それも何だか、僕には信じられない疑問の一つだね。』

『嘘なら、お酉姐さんに聞いて御覧なさい。風が吹けば倒れさうな哀れな姿をして、わざ〳〵此家まで出てお在で、そして、妾を掛けて下すつたのよ。』

『そりや驚いたね。町川君自身が出て來たこ云ふよりも、更に一層の不可思議事件だが、君がそれ程に云ふ所を見るこ、豈夫嘘ぢやあるまい。で、その禮さんこの交渉問題は、ごうなつたのか？』

斯うなつて來るこもう、櫻井も滿更の茶話ではなくなつて來たのである。

『ごうつて、別段の事もなかつたんですがね、禮さんの被仰るにはお前さんが眞實良人の身を思つて呉れる志がお有りのならば、良人に關はず、妾が一切を引受けて明日こも云はず今夜にでもお前さんを落籍するから……こ、斯うなんでせう。妾だつて、櫻井さんの前ですけれごも十九や二十の身空ではあるまいし、病人の奥樣がわざ〳〵這麼遠い所まで出てらつして、涙を片手に御家庭の事情から何から、お話になるんですもの……はい、妾は貴女の旦那樣に惚れこりますから、妾の身體を御引取り下さい……こは、云はれないぢやありませんか。それに眞實、妾は禮子さんが心配こ氣苦勞こに痩せきつてお在の姿やらお顔やらを見て見るこ、心から同情せずには居られなかつたんですの。ですね。櫻井さん、貴郎には少し、済まなかつたんですけれご、貴郎のお名前を鑑前に使つちやつたのよ。』

『なに、僕の名を鑑前に使つたこは……？』

櫻井は、眼を顰くして胡坐を掻き直した。

『まあ、そんなに吃驚なさらなくこも可いわ。……もし、奥樣、折角のお心盡しは、有がたう御座いますけれごも、妾には内々櫻井順吉さんこ云ふ歴とした情夫がありますから、落籍云々のお話は、平にお斷り申します……こ、立派に謝絶して了つたのよ。』

『おいおい、冗談にも事を缺いて、そんな所へ僕の名を擔ぎ出す奴があるもんか。』

『だつて、仕方がないぢやないの貴郎の名刺が丁度紙入の中にあつたんですもの、それに、昔を云へば、萬更の御他人こ云ふ譯でもありは爲まいし、何もお交際だこおもつてお諦めなさいよ。』

『諦めなさいこ云つても、諦められない事があるんだから困るよ。そりやね、僕見たよな男でも、棚橋一流の名妓若龍君の情夫こ云ふ事にされたのは、嘘にもせよ、名誉かも知れんがね、その事が若し町川の女房の耳へ入つたり、又は久三郎君の耳へ入つたりした日には、僕の一身に取つて、非常な不利益な事があるんだよ。』

『まあ、貴郎の一身に取つて、非常な不利益な事が……。』

『非常も非常、頗る非常な不利益な事が出來するんだ。』こ、櫻井は今までになく、眞劍の眞顏に復つて、左も困つたさうに頭を抑へる

『まあ、什うこ云ふ事なんですよ、その不利益こ云ふのは……？』

若龍も、流石に多少は氣の毒さうな調子で、問ひ返した。

『そりや、此處で明言する限りぢやないんだがね。何にしても、近來無比の大失策を仕出來して呉れたもんさ。』こ、櫻井は、嘘でなく泣き出しさうな顏色……何やらその裏面には大なる秘密が潜んで居るらしい。

砂糖 桶入 五斤入 七斤入 十斤入

△中元贈答品は何かよいと思案召さるな!!

其外好適品各種取揃有之候

千利堂菓子舖 大門店 電話二七一〇番 本町支店 電話二九三〇番

日報歌壇

夏 倉成 藤水

道界の白きペンキの標木の振ゆくわれの眼はせまりくる

するごかる洋酒の瓶しごんよりさ雨降りければくもりたりけり

△ 益田 赤果

小初の日照りかとよ[illegible]くのこと思ひ出でにけり

さくくと菓果なかめば忘れたるいろ[illegible]

△ 新荻 芙美子

夕でらの帯きてかなしゆゑ空の帯かろ[illegible]にたゞずむわれに

△ ながさだ

[illegible]きたまきろび俺しふさしわがふともふれにし指のあやまち

あたらしき眼は輝けり陽よさらにその若人に眼な閉ぢしめよ

うちたふれなげけるひきにわか心狂ひの前にとく詫びて來よ

▲夏の歌を募る

○ 雪子

さ青なる華陸に紅く此の莓首うなだれてみのりて居たる

旅にしてかゝりし虹の朝風に消ゆゆくこころさびしかりけり

○朝鮮にて 生光生

連なれる山赫く禿げ籬原續き河は干あがりたる見ゆ

汽車ぬちに窓しあくればほうほうと塵こび積る木のあらぬため

終日を白きころもを洗ひをる夏の河原の朝鮮のをんな

土龍ほりし跡の如しも鮮人の墓の外青草日に萎れたるも

●訂正 十二日朝刊の『鮨』 芹 郎

うれしい心をして鮨をあまして居るや

○ 阿岐良

鮨押し佗ぶる妻を疎んじもする

○ 鳥 堂

酒たうべぬまじまじ鮨ばかりの夜

日報俳壇

春季雜詠 未刀

雲に眺されて仰ぐ一つ家路の霧 同

霧頭に代り押す艀や海鷗ら 同

山吹に鍬捨てゝ拔く郵書かな 同

磯の夕日追ひ飛ぶ虻紫し 同

劇場の空に暮春の星座哉 同

夕日燃ゆる屋根石山の躑躅かな 同

苗床の砂が光るや春日影 同

春の夜を搾りて休めし電話かな 涼

肥船の歸へる入日や行々子 同

山羊繋ぐポプラの土手や春の風 亭

牧廣に嘶く牧草や春の風 同

池に浸す籾の俵や桃の花 同

切り捨てし牛蒡の新芽や春の雨 同

野良草履干す門や春の雨 同

垣干しし兒等の草履や雪解風 同

工夫働く夕空深し春の星 湖

山畑を耕す唄や土筆 同

母を呼ぶ兒の夕聲や土筆 劍

晴れて行く海金剛や風光る 不可人

窓年車續く畷や風光る 香仙

●家庭料理講義錄 我國唯一の料理講義錄たる東京割烹講習會出版の同講義錄は、内容完備し數々の意匠を挿み文章平易にして親しく丁寧を極めたれば何人にも解し易く甚だ用に適せり。今般近發行の秋の卷は高闘先生の精進料理、涼しさうな夏向きの料理、南瓜さ西瓜と馬鈴薯の料理、夏向きの日本菓子を始め[illegible]暑中向きの記事を精選しあり、之れに加ふるに便利な鷄卵料理、雞肉利用の新料理、西洋料理大意、支那料理、西洋菓子の製法等有益な講あり、殊に夏の[illegible]方の如き最も見るべき記事たり。以上の外、禮儀と法、日本と禮法、普通婚禮式法、家庭和樂の秘鑰、嫁に遣る迄の準備、文字甚だ多し。尚は今回は十週年記念として此の際一箇年前金四圓 十錢を挿込まるゝ人々に對して『パン製造法』及び記念メダルを進呈する由『同講義錄一部定價金四十錢、發行所東京市本郷區お茶の水東京割烹講習會』

文藝界

▲村田政義氏（貿易商家）は二十五日朝鮮巡遊の爲め入京する由にて廿六日夕刻より鐵道俱樂部に於て演奏會を開き廿七八日に京城に同樣演奏をなすべく同流の山田、渡邊、小川、藤の諸氏應援するの由、氏は八九年前鐵道局に勤務しゐたる事あり後官を辭して東上東京の地頭桐谷正治氏の門に入り高足となれる人なり

新刊紹介（到着順）

▲家庭染色手引（岩谷織十著）二十錢 兵庫縣[illegible]郵便局西日本家庭染色研究會本部

▲演藝畫報 七月號 表紙畫は例によつて鳥井清忠筆四ッ谷の夢にして此の外名取春仙、小川治平、松山等の挿畫、名越國三郎畫伯の繪畫、東京と大阪各座の舞臺寫眞、其他猿之助が評には名優評傳さして中村梅玉論、芝居見たまゝ、劇評を始め研究隨筆各方面名士の記事頗る豐富に

▲朝鮮鑛業會誌（二の七） 鑛業の振作鮮國に於ける鐵及び石炭の自給を論ず鑛床一斑、米國石油鑛物及び岩石標本して[illegible]一夏の好讀物たるを失はず 定價金四十五錢東京々橋南佐柄木町共社

銃 修繕 多年の經驗と完全設備

玉井工場 龍山元町二 電五三八

補血强壯の[illegible] 婦人病の妙藥 人參煎 一日分十錢 廿日分二圓 京城南大門通三丁目 鮮滿化學製藥株式會社 電話二三二六番

讀者の領分

（白百合）▲承知致しました早速御送り致します（係）▲果して[illegible]ませんかお尋ね[illegible]ませんか、[illegible]して下さい（[illegible]）▲向の御[illegible]に就いて下さい（[illegible]）▲流の料理屋主に告ぐ[illegible]でも痛んだ[illegible]が過ぎるぜ（[illegible]）▲東京の若い者[illegible]へ立てらし[illegible]ふ者、[illegible]は[illegible]

京城本町一丁目 **正氣堂** 電話二九五番 振替京城一二八三

▲御一報次第見本送呈

▲亜細亜時論（一周年記念號）時事地理、歴史、文苑隨錄（三十錢東京坂溜池町一黑龍會出版部）

▲科學世界 一の二 數學の珍らしき日給の外論說、理化博物[illegible]學工學 京都[illegible]研究會發行（二十錢東京本郷湯島[illegible]）

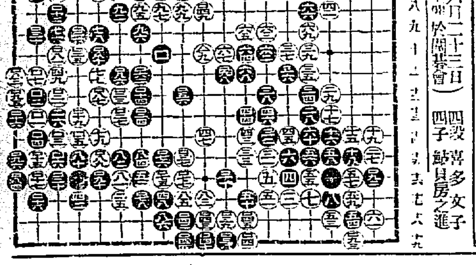
▲海紅（四の五）雜詠、翠集句、[illegible]行 各地俳況、成想、句評、消息其他（二十錢東京下谷上根岸八二番の二海紅社）

[illegible]の解說、金鑛製錬所に於ける水銀の損失、外國鑛業消息、統計表等 四十錢京城南山町二の二七朝鮮鑛業會

碁戰（完）

（大正七年六月二十三日京城日報社於閲碁會）

四段 喜多文子 四子 鮎貝房之進



白九目勝

てんかん 病でヒキツケ困る方當家に時々ヒキツケ起るも直ちに全治す[illegible]自慢の良藥あり誰にも只一回試みよ多數の全快者あり連絡切手三錢送れ其詳細を無代で知らす 名古屋市中區南小川町 救生舘

花柳病專門外科 梅毒・淋病・泌尿生殖器病・睾丸病・痔疾・肛門病・皮膚病・婦人病・神經衰弱・ヒステリー 京城南大門通農工銀行裏 **司生堂醫院** 電話三〇六五番

▲パインAG三分計體溫器▼

◎四大特徴 (1)示度正確 (2)誰にも見易し (3)感應早し (4)決して狂はず

◎農商務省示度標準計に依る檢定證及年齡別平均體溫表添付

▲優美サック入定價金壹圓九拾錢 送料鮮外三十二錢

パイン撿溫器發賣元 京城大平通 京城日報社代理部 電話長六〇〇九番 振替京城三〇〇番

於東京化學工業博覽會

金牌受領

最上醤油 釀造元 日本醤油株式會社

御料 御園白粉

避暑と旅行には……

旅行 御旅行に御出掛の節には、先づ何よりも日に焦けぬ樣に御園ルチゲンを顔から手先きにくまなく擦り込み、御婦人方は其上に御園煉白粉をおつけになりまして、尚鞄の中には御園白粉水白粉、御園の月、粉白粉御園の花、化粧水御園四季の花、化粧水御園の露、白粉下御園クレーム御顏直し用御園紙白粉、御園香油、化粧香水御園の橘及御園齒磨等は必ずお忘れなくお入れ遊ばせ。

溫泉 溫泉の種類によりましては、粗惡い白粉……殊に鉛を含んで居る白粉などをつけて御入浴なさいますると、一種の化學的の變化で肌が眞黑になります。其色が容易に除れぬ事が御座いますから、何方の溫泉においての節にも必ず御園白粉をお用ゐ遊ばせ。絶對無鉛の御園白粉さへお粧になつて御入浴遊ばすと、溫泉の種類を問はず又何な瓦斯に觸れても決して其樣な憂はありません。

海水浴 海水浴などで日に焦けますと、少くとも數月經たなくては元の肌の色になりません。所が高橋醫學博士が發見せられたルチゲンと云ふ日焦けを完全に防ぐ藥品を主成分として之れに肌に有効な化粧材料を配合した御園ルチゲンを塗けますと、日焦けを完全に防ぐ事が出來、尚つけて毫しも目立ぬので御婦人には白粉下の代用ともなる持効があります。

御料 御園白粉本舖 伊東胡蝶園

御料 御園白粉發賣元 丸見屋商店

（462）